会社のリラクゼーションルームで ドスケベサービスしてくれる淫乳上司

■登場人物

柊　有紗(36)

T164　B109(K)/W63/H94
有能上司
カラダ目当てのクズ男ばっかり寄ってくるので
うんざり＆欲求不満
やたら厳しく指導してもけなげについてくる
不出来な部下がお気に入り

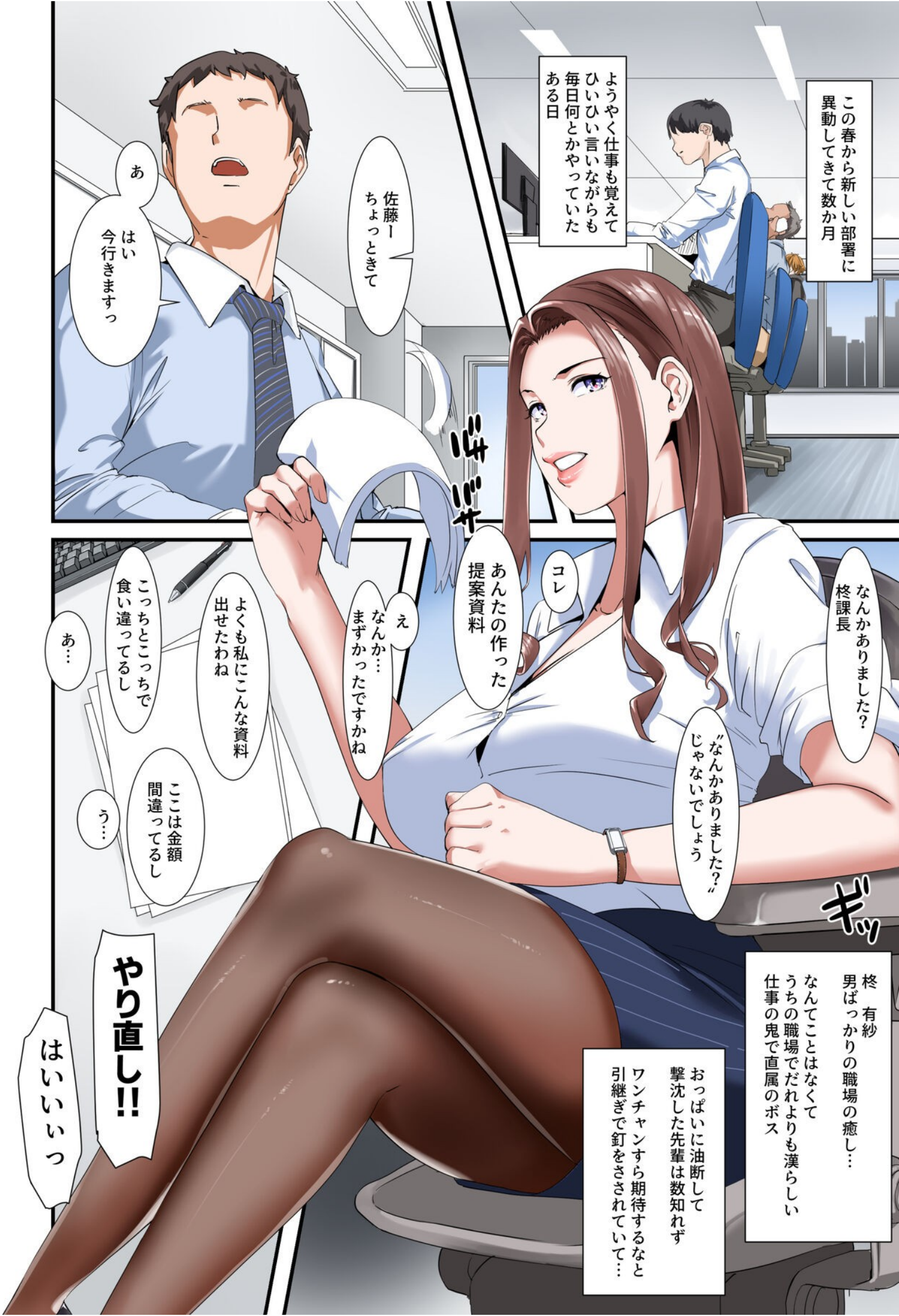
弱点：密着ベロチュー中出し

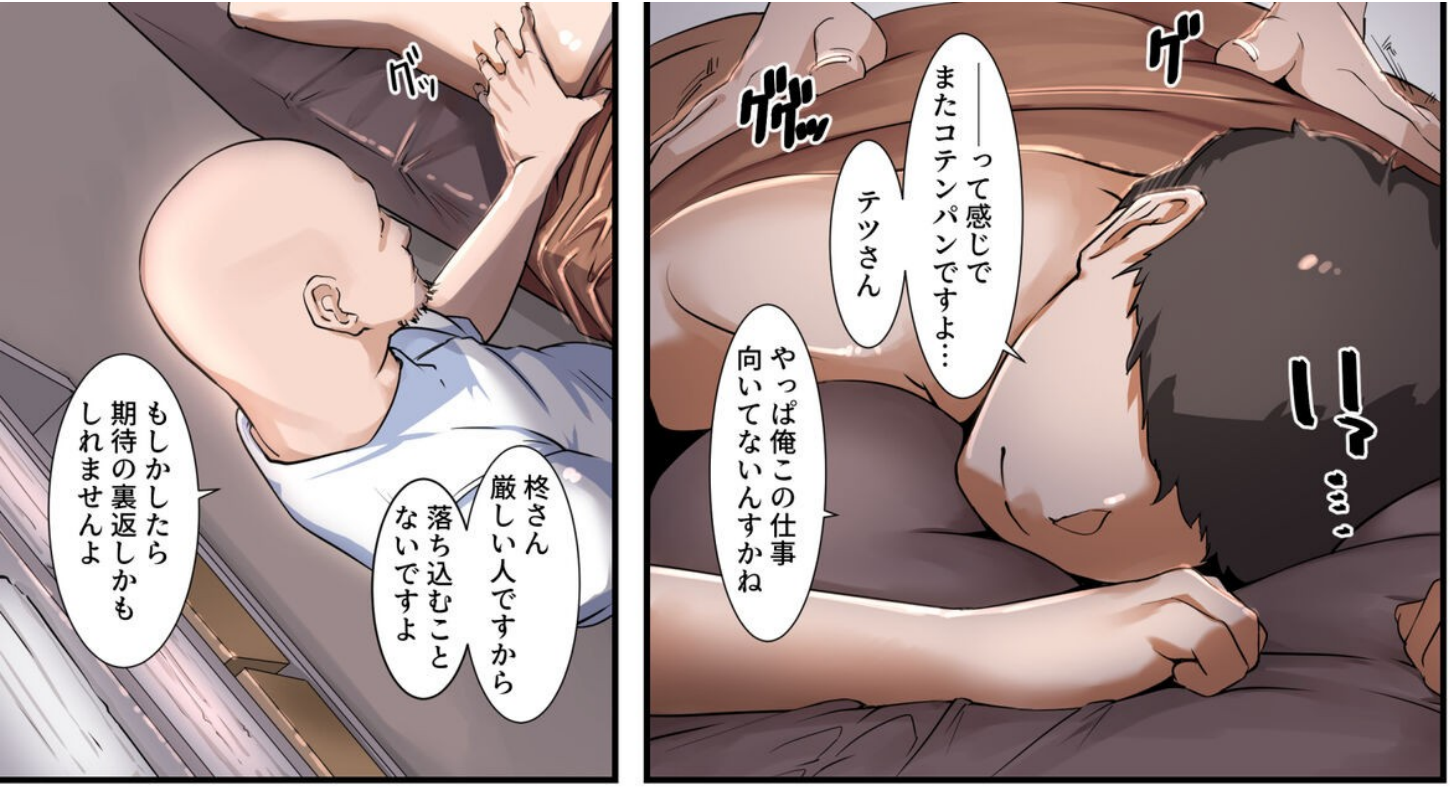
テツさん

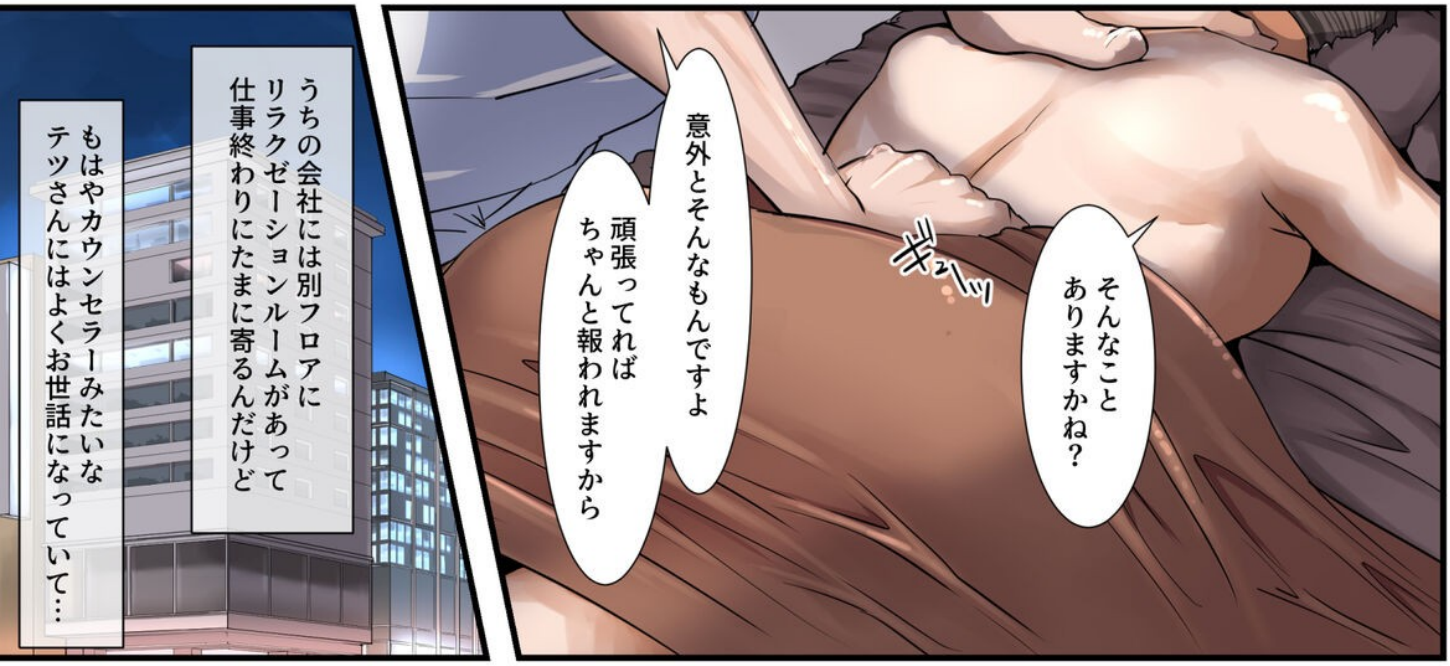
腕のいい整体師
作中なんかありそうで
別になんもない

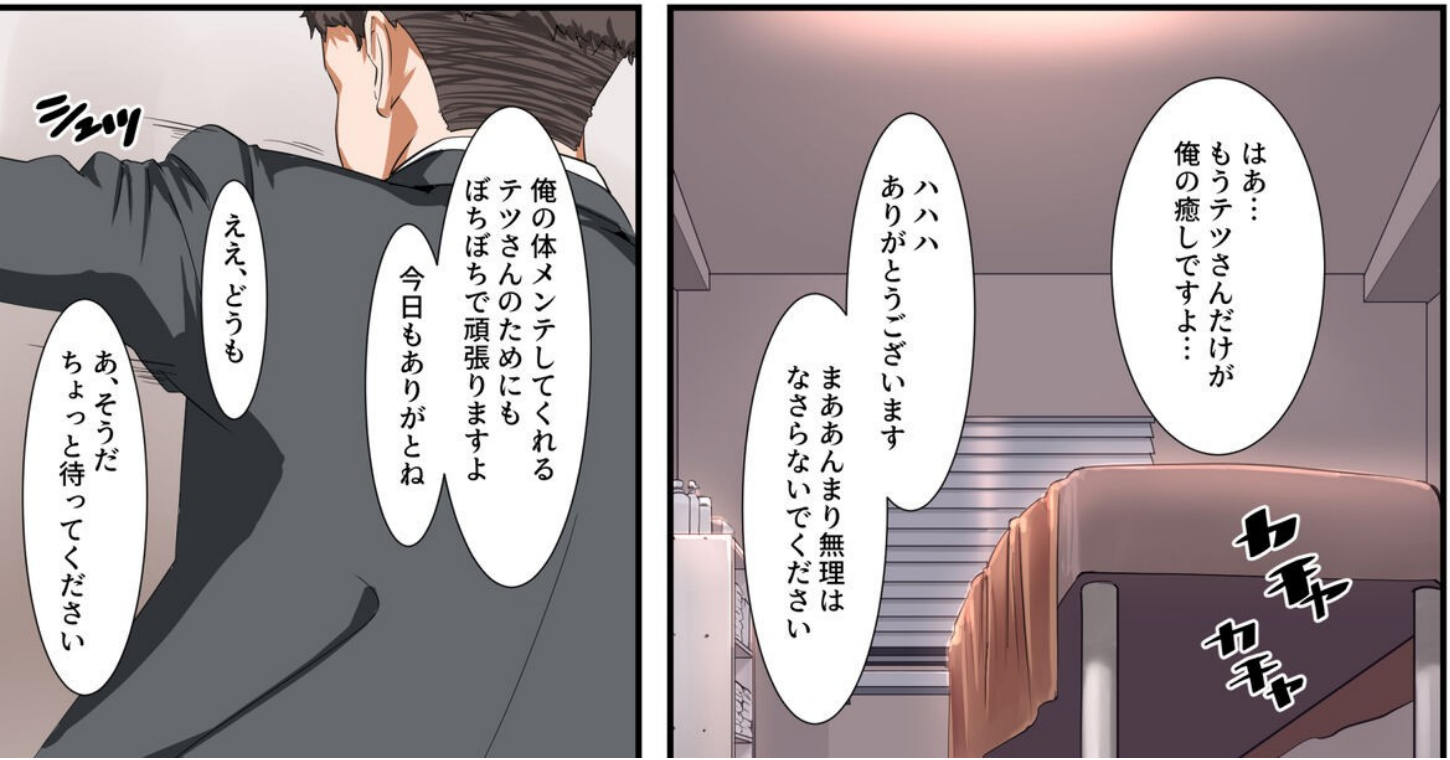
佐藤

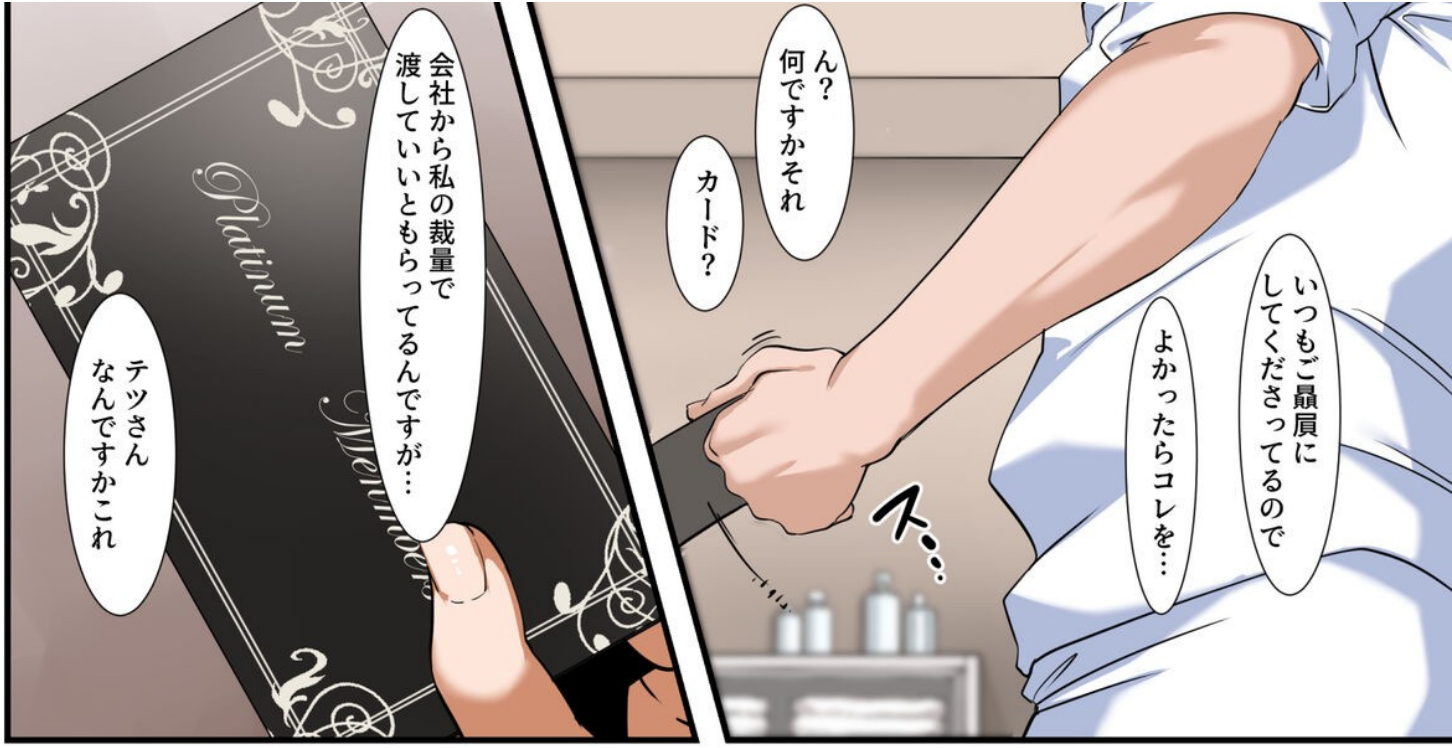
おちんちん係

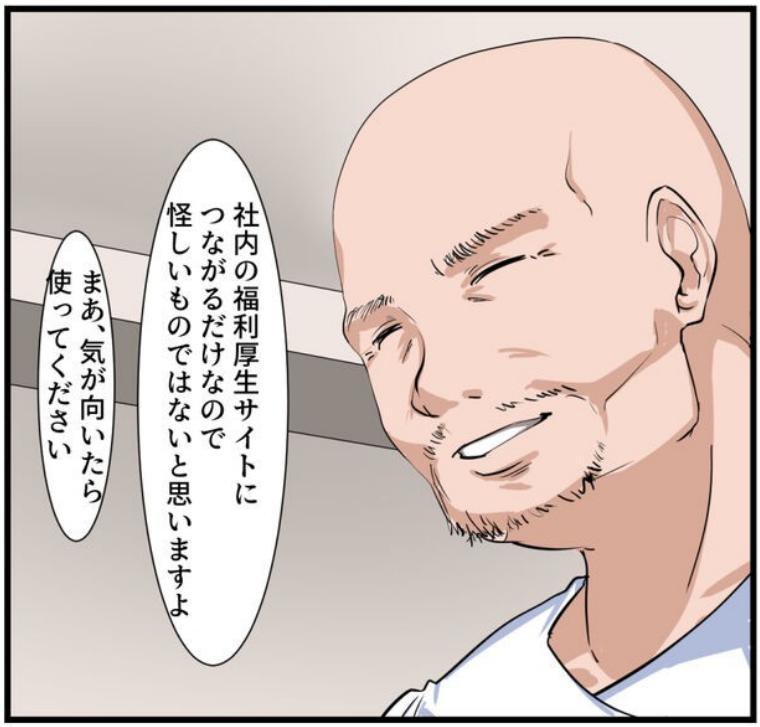

この春から新しい部署に異動してきて数か月
ようやく仕事も覚えてひいひい言いながらも毎日何とかやっていたある日
佐藤ー
ちょっときて
あ
はい
今行きますっ
バサバサ
なんかありました？
柊課長
コレ
あんたの作った提案資料
〝なんかありました？〟じゃないでしょう
ギッ
柊　有紗
男ばっかりの職場の癒し…
なんてことはなくて
うちの職場でだれよりも漢らしい
仕事の鬼で直属のボス
おっぱいに油断して
撃沈した先輩は数知れず
ワンチャンすら期待するなと
引継ぎで釘をさされていて…
え
なんか…
まずかったですかね
よくも私にこんな資料
出せたわね
ここは金額
間違ってるし
う…
こっちとこっちで
食い違ってるし
あ…
やり直し!!
はいいいっ


ゲ
ゲゲッ
!?
——って感じで
またコテンパンですよ…
テツさん
やっぱ俺この仕事
向いてないんすかね
グッ
柊さん
厳しい人ですから
落ち込むこと
ないですよ
もしかしたら
期待の裏返しかも
しれませんよ


そんなこと
ありますかね？
ギュッ
意外とそんなもんですよ
頑張ってれば
ちゃんと報われますから
うちの会社には別フロアに
リラクゼーションルームがあって
仕事終わりにたまに寄るんだけど
もはやカウンセラーみたいな
テツさんにはよくお世話になっていて…


はあ…
もうテツさんだけが
俺の癒しですよ…
ハハハ
ありがとうございます
まああんまり無理は
なさらないでください
カチャ
カチャ
ジュッ
俺の体メンテしてくれる
テツさんのためにも
ぼちぼちで頑張りますよ
今日もありがとね
ええ、どうも
あ、そうだ
ちょっと待ってください

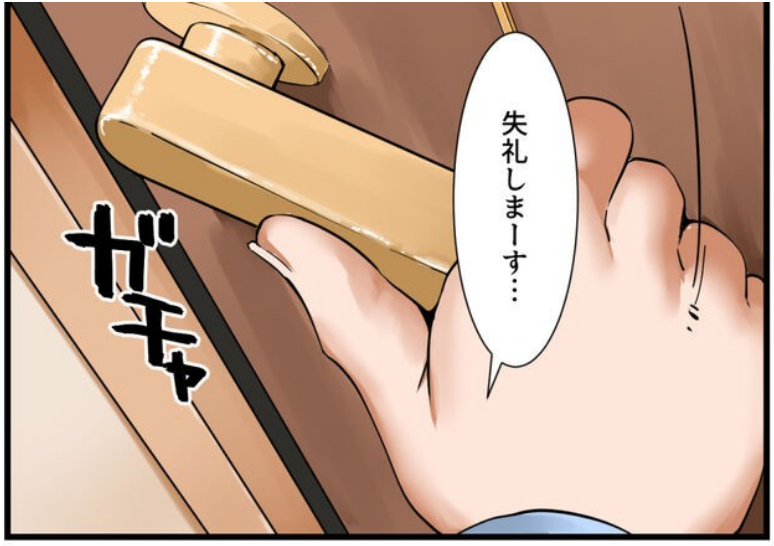

いつもご贔屓にしてくださってるので
よかったらコレを…
ス…
ん？何ですかそれ
カード？
Platinum
Member
会社から私の裁量で渡していいともらってるんですが…
テツさんなんですかこれ


社内の福利厚生サイトにつながるだけなので怪しいものではないと思いますよ
まあ、気が向いたら使ってください

はいご利用ありがとうございましたまたお願いします
ふーん…とりあえず後で見てますよ

実は…私も内容は知らないんですが…
え!?
専門スタッフの特別なサービスを受けられるらしいんですよ
何それ…大丈夫なんですかね
カードのQRコードを読み取ってもらえれば内容が分かるようですよ
あー、ここの…

佐藤
まだやんの？
あ、課長から降ってきたやつが終わんねえんだよ…
あー、お前〝気に入られてる〟もんなぁ
じゃあ俺先に帰るわ
おぅお疲れー
あー
もうこんな時間かよ…
あとは明日の朝
課長に確認してもらって…
俺も帰るかぁ
あ、そうだ…
テツさんにもらったやつ
帰る前に
これ確認しとこうと思ってたんだ
――って
開いたはいいけど
いきなりいかがわしい感じの…
確かに会社のサイトだし
リラクゼーションルームの
予約が表示されてるけど…
なまえ
アリサ
T164 B109(K)/W63/H94
これ…
柊課長じゃないのか…
名前もアリサって
新手のパワハラなのか…？
でもこんな爆乳お姉さんが
してくれるならありだよな…
テツさん…
信じてますよ…
トン
ピコン
Employee Benefits
リラクゼーションルームの
ご予約を受け付けました

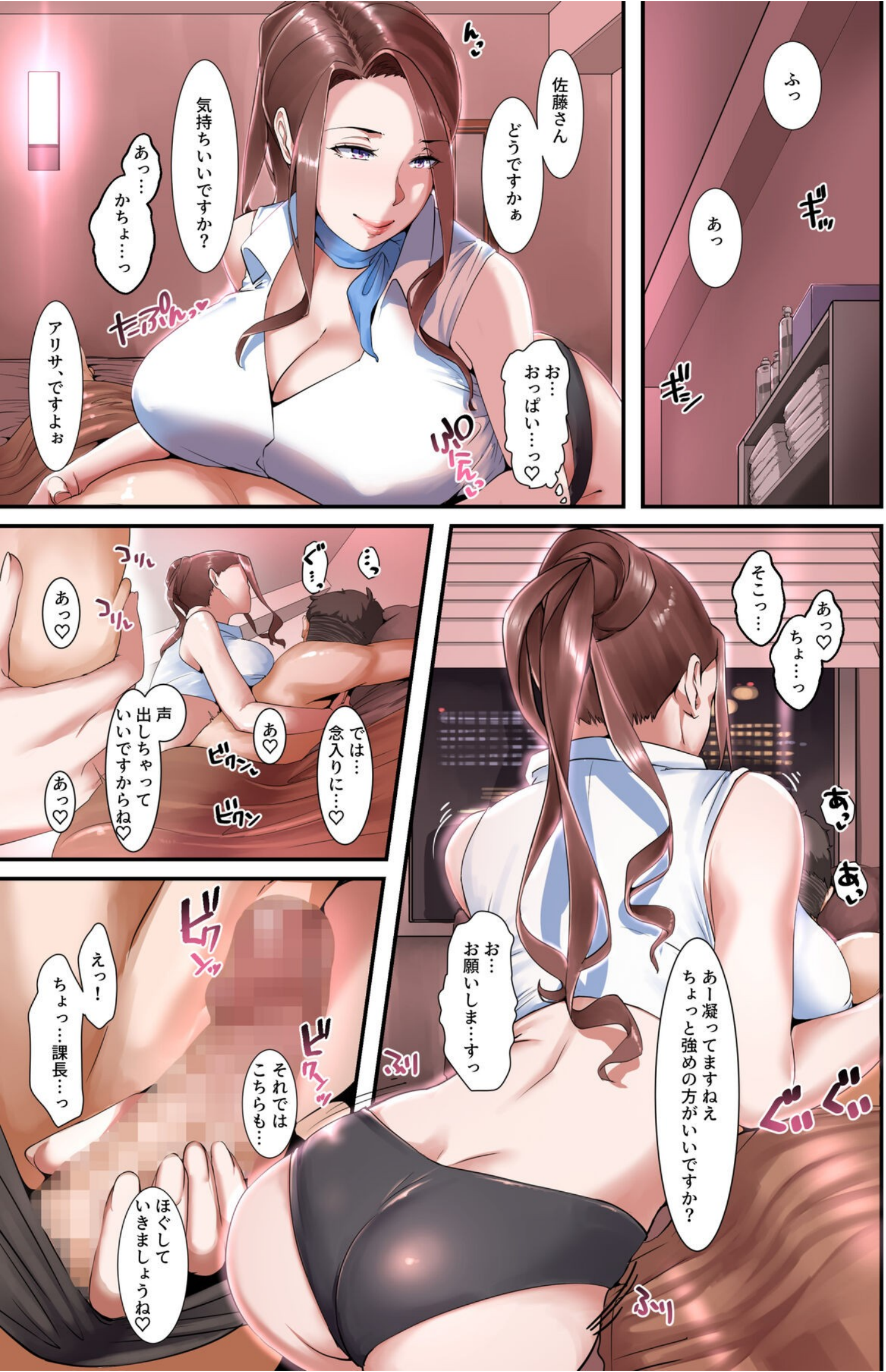

ガチャ
失礼しまーす…

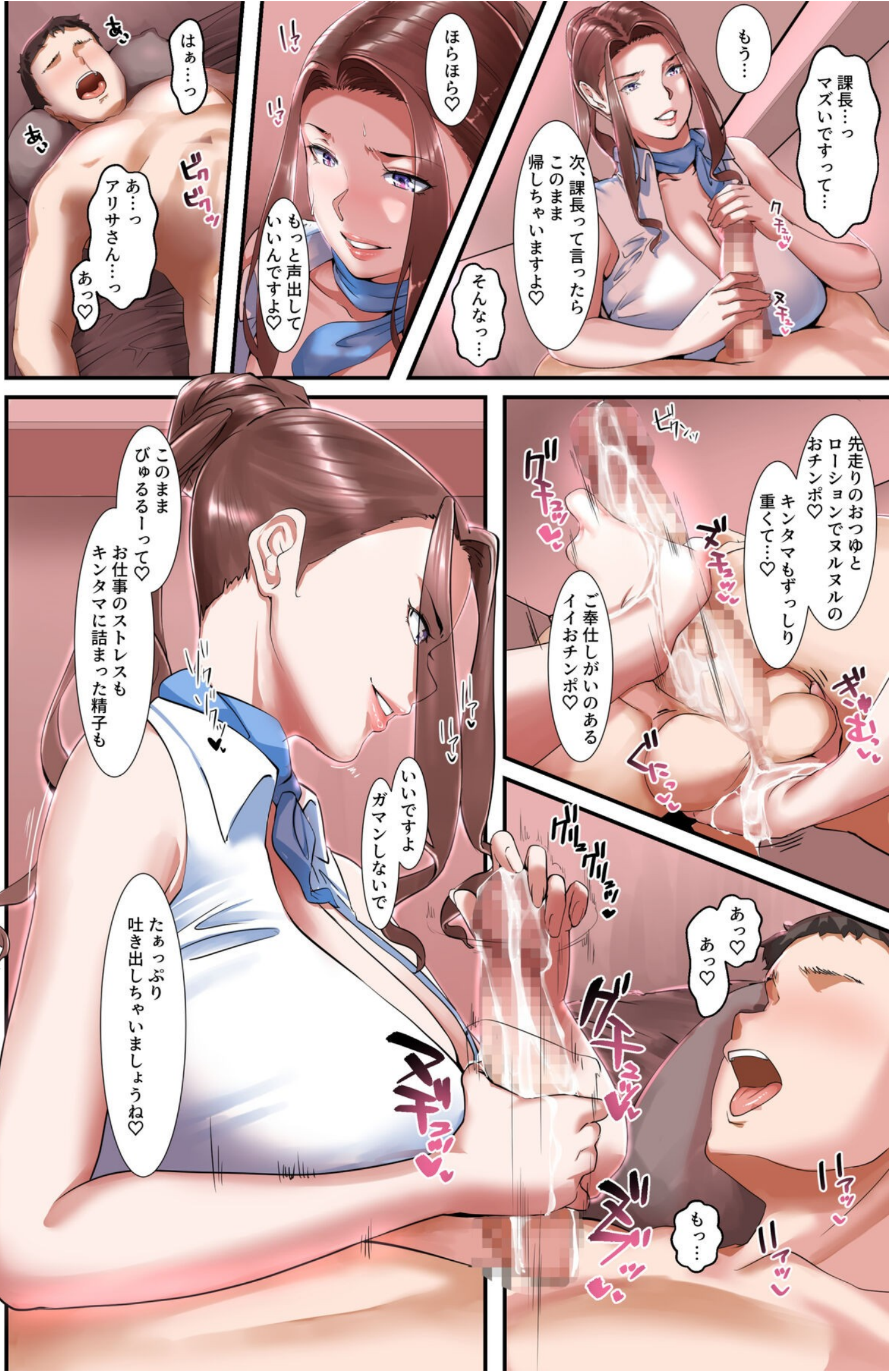
――で
結局、予約通り
来ちゃったんだけど
時間になったら
入っていいって書いてたな…

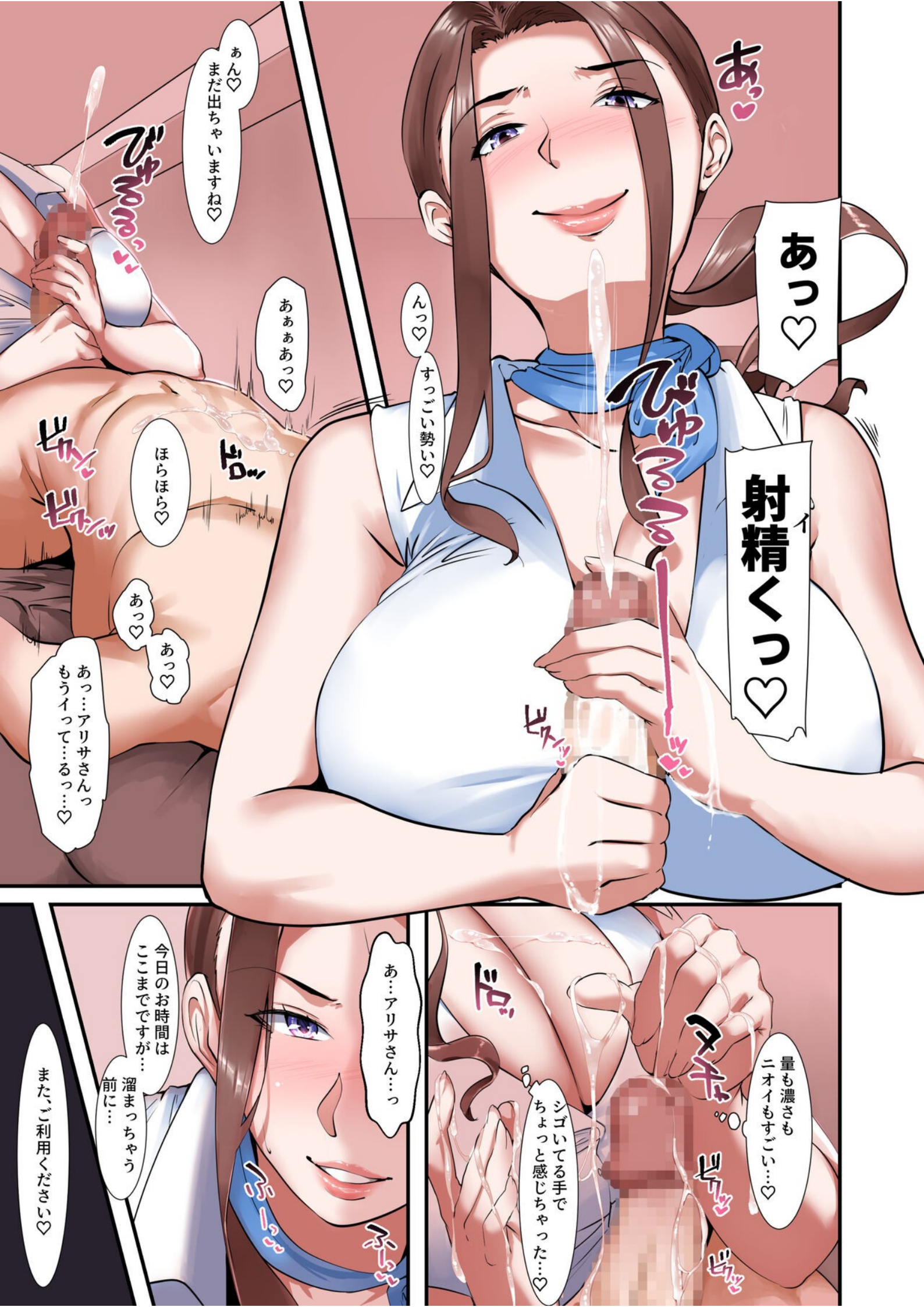
あの…っ
柊課長…
ですよね…？
ドキドキ

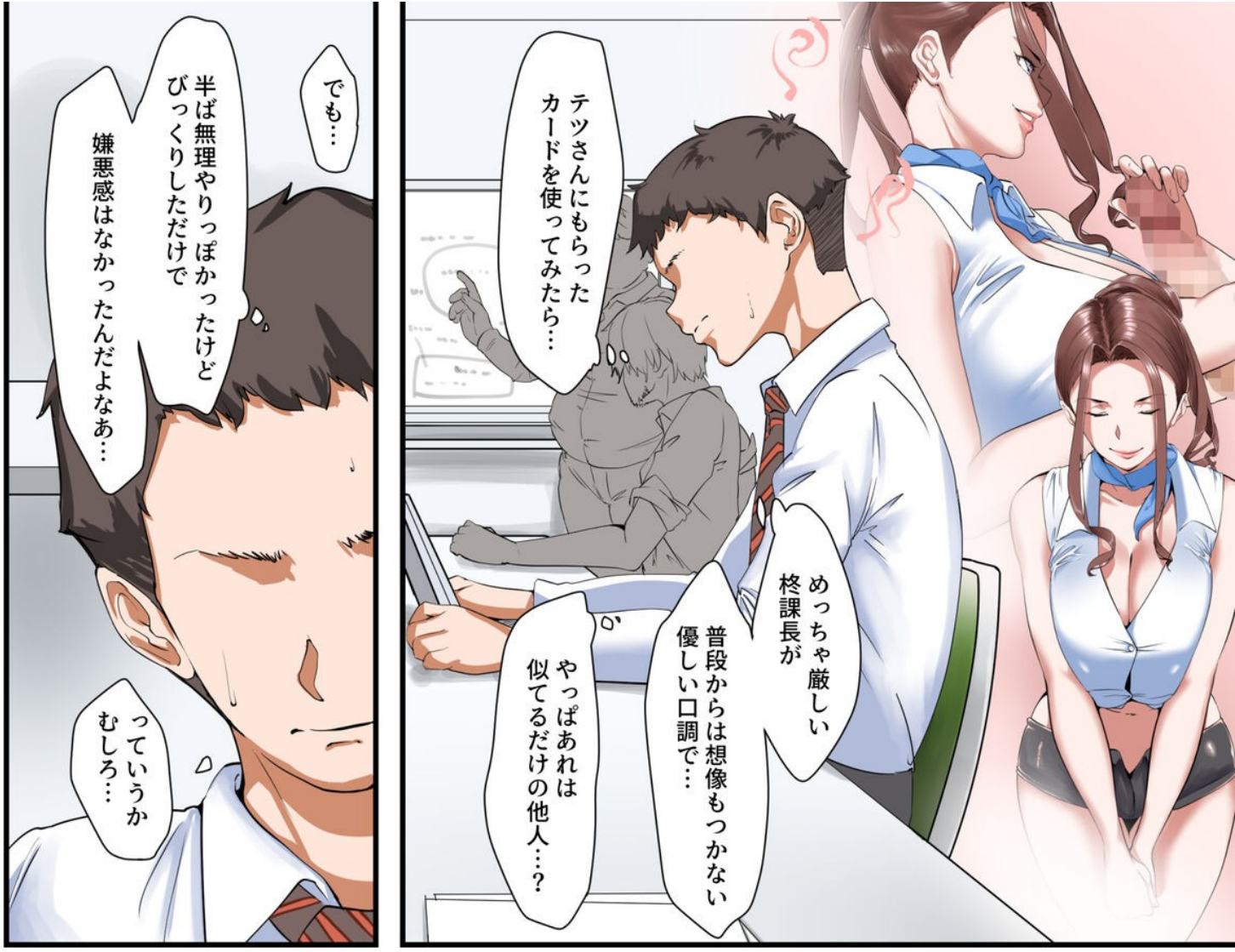
どなたかに
似ておりますか？
あ…いや…
ふふっ♡
さあ、どうぞこちらへ♡

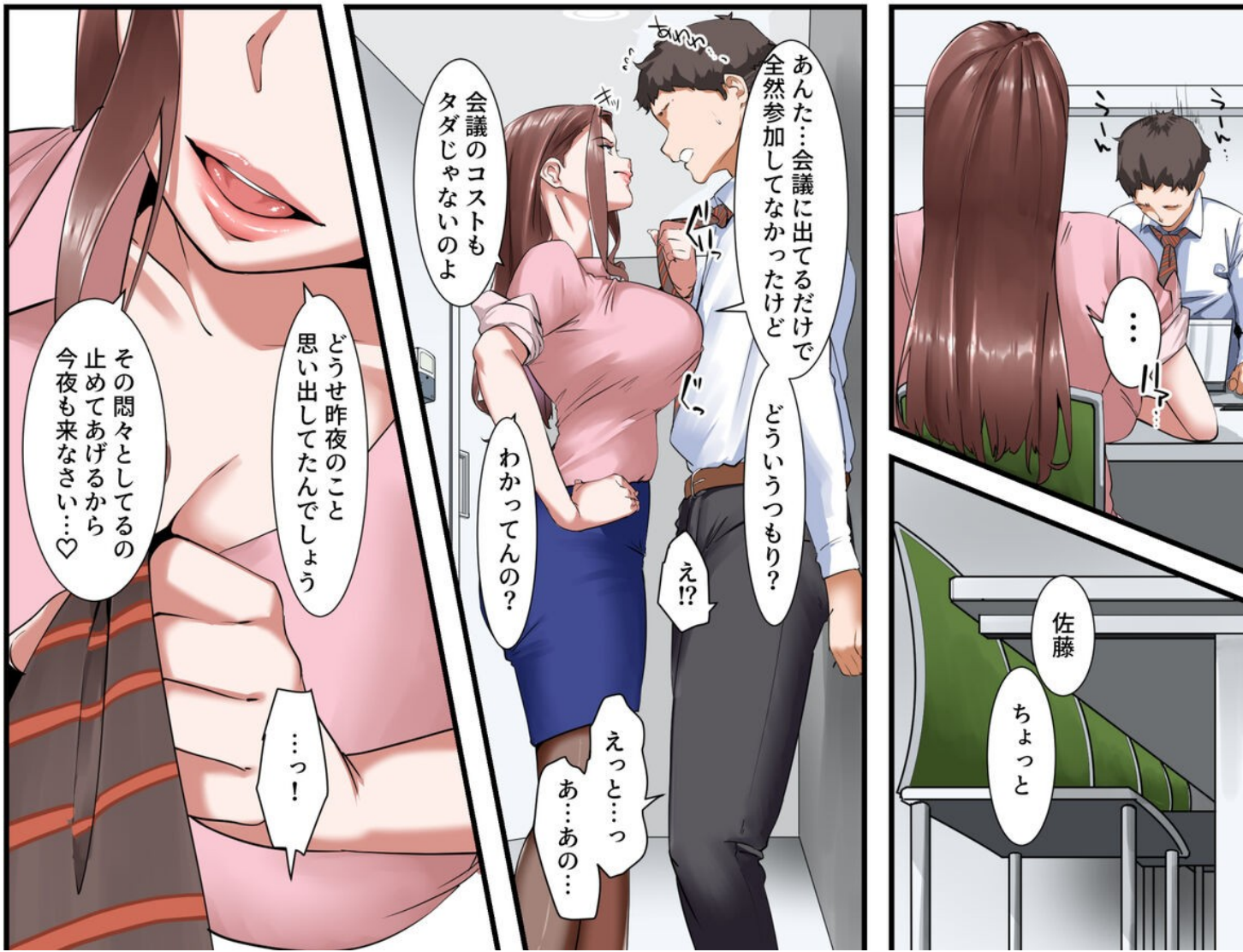
お待ちしておりました
…っ!!
あ…この声
やっぱり…
むぎゅ
むにゅ
特別室のご予約
ありがとうございます
担当致します
アリサです


ふっ
あっ
ギッ
ギシ
佐藤さん
どうですかぁ
気持ちいいですか？
あっ…
かちょ…っ
アリサ、ですよぉ
お…
おっぱい…っ♡
ぷにんっ♡
あっ♡
ちょ…っ
そこっ…
あー凝ってますねえ
ちょっと強めの方がいいですか？
お…
お願いしま…すっ
ぐぐぐ
あっ
あっ
では…
念入りに…♡
あ♡
ビクン
ビクン
声
出しちゃって
いいですからね♡
あっ♡
コリ
コリ
ぐっ
ビクッ
ビクッ
ふり
ふり
えっ！
ちょっ…課長…っ
それでは
こちらも…
ほぐして
いきましょうね♡

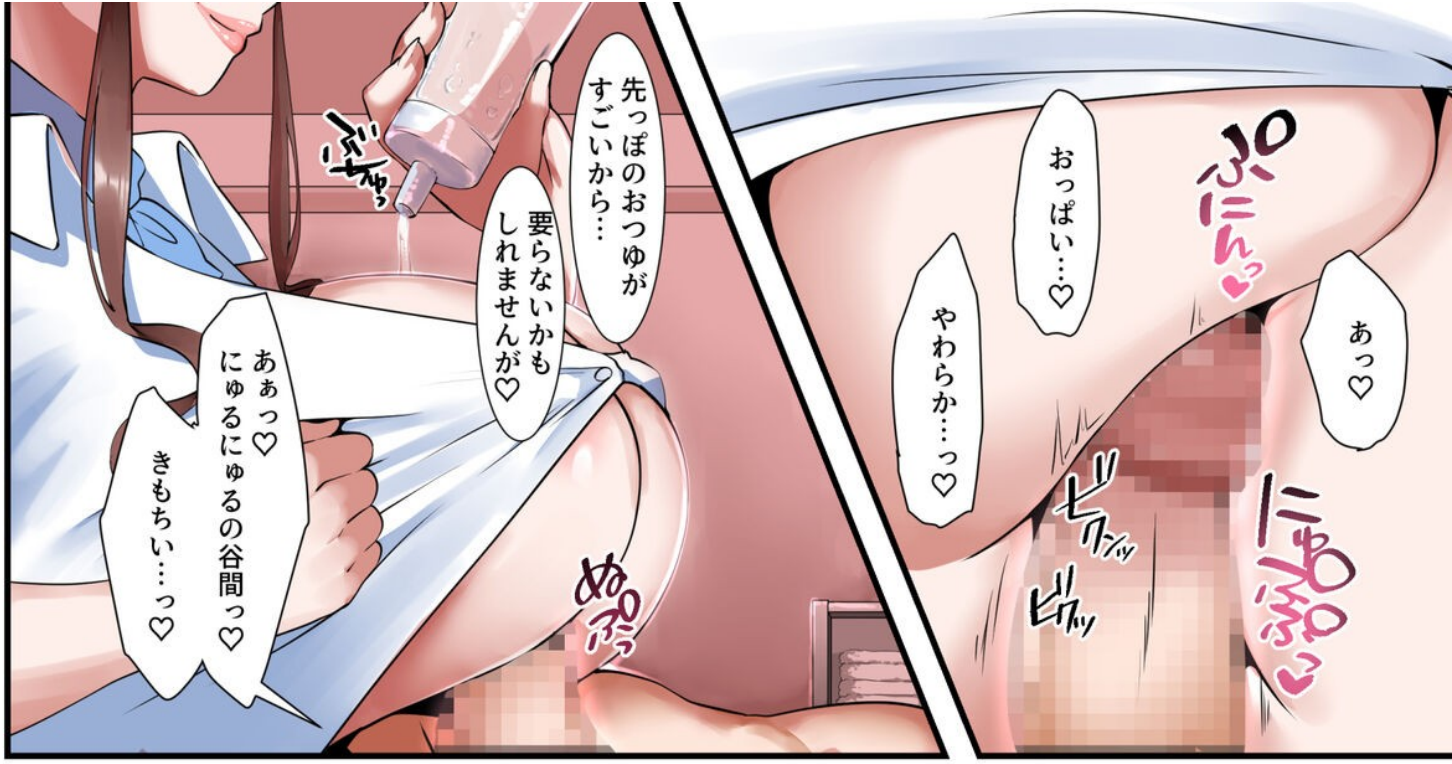

課長…っ
マズいですって…
もう…
クチュッ
ヌチュ
次、課長って言ったら
このまま
帰しちゃいますよ♡
そんなっ…
ほらほら♡
ハァハァ
ハァハァ
もっと声出して
いいんですよ♡
はぁ…っ
あ
あ
ビクビクッ
あ…っ
アリサさん…っ
あっ♡
先走りのおつゆと
ローションでヌルヌルの
おチンポ♡
キンタマもずっしり
重くて…♡
ビクンッ
グチュッ♥
ズチュッ♥
ご奉仕しがいのある
イイおチンポ♡
ぎゅむ♥
ぐにっ♥
グリュグリュッ♥
あっ♡
あっ♡
グチュッ♥
ズブッ♥
ハァハァ
もっ…
ハァハァ
このまま
びゅるるーって♡
お仕事のストレスも
キンタマに詰まった精子も
ハァハァ
ハァハァ
ズチュッ♥
いいですよ
ガマンしないで
たぁっぷり
吐き出しちゃいましょうね♡
ズチュッ♥


あっ♡
射精くっ♡
びゅるるるーッ♡
ビクンッ
あっ♡
ぁん♡ まだ出ちゃいますね♡
びゅるるっ
あぁぁあっ♡
んっ♡ すっごい勢い♡
ほらほら♡
ドロッ
ビクンッ
ビクンッ
あっ♡
あっ♡
あっ…アリサさんっ もうイって…るっ…♡
量も濃さも ニオイもすごい…♡
ドロッ
ヌチュ
ビクッ
ビクッ
シゴいてる手で ちょっと感じちゃった…♡
あ…アリサさん…っ
今日のお時間は ここまでですが… 溜まっちゃう前に…
ふーっ
ふーっ
また、ご利用ください♡


テツさんにもらった
カードを使ってみたら…
めっちゃ厳しい
柊課長が
普段からは想像もつかない
優しい口調で…
やっぱあれは
似てるだけの他人…？
でも…
半ば無理やりっぽかったけど
びっくりしただけで
嫌悪感はなかったんだよなあ…
っていうか
むしろ…

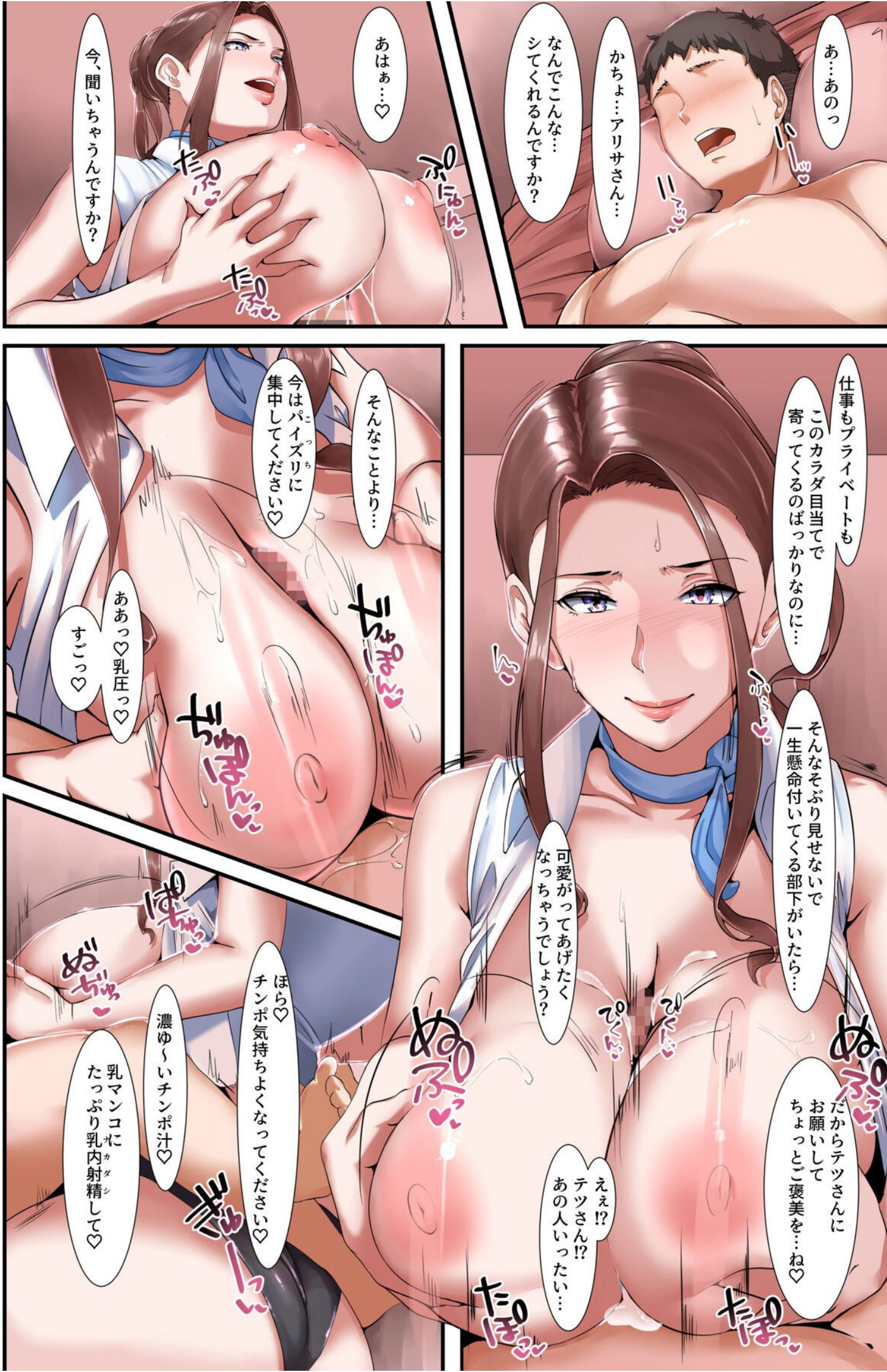

うーん…
うーん
…
佐藤
ちょっと
あんた…会議に出てるだけで
全然参加してなかったけど
どういうつもり？
え!?
わかってんの？
えっと…っ
あ…あの…
会議のコストも
タダじゃないのよ
どうせ昨夜のこと
思い出してたんでしょう
…っ！
その悶々としてるの
止めてあげるから
今夜も来なさい…♡

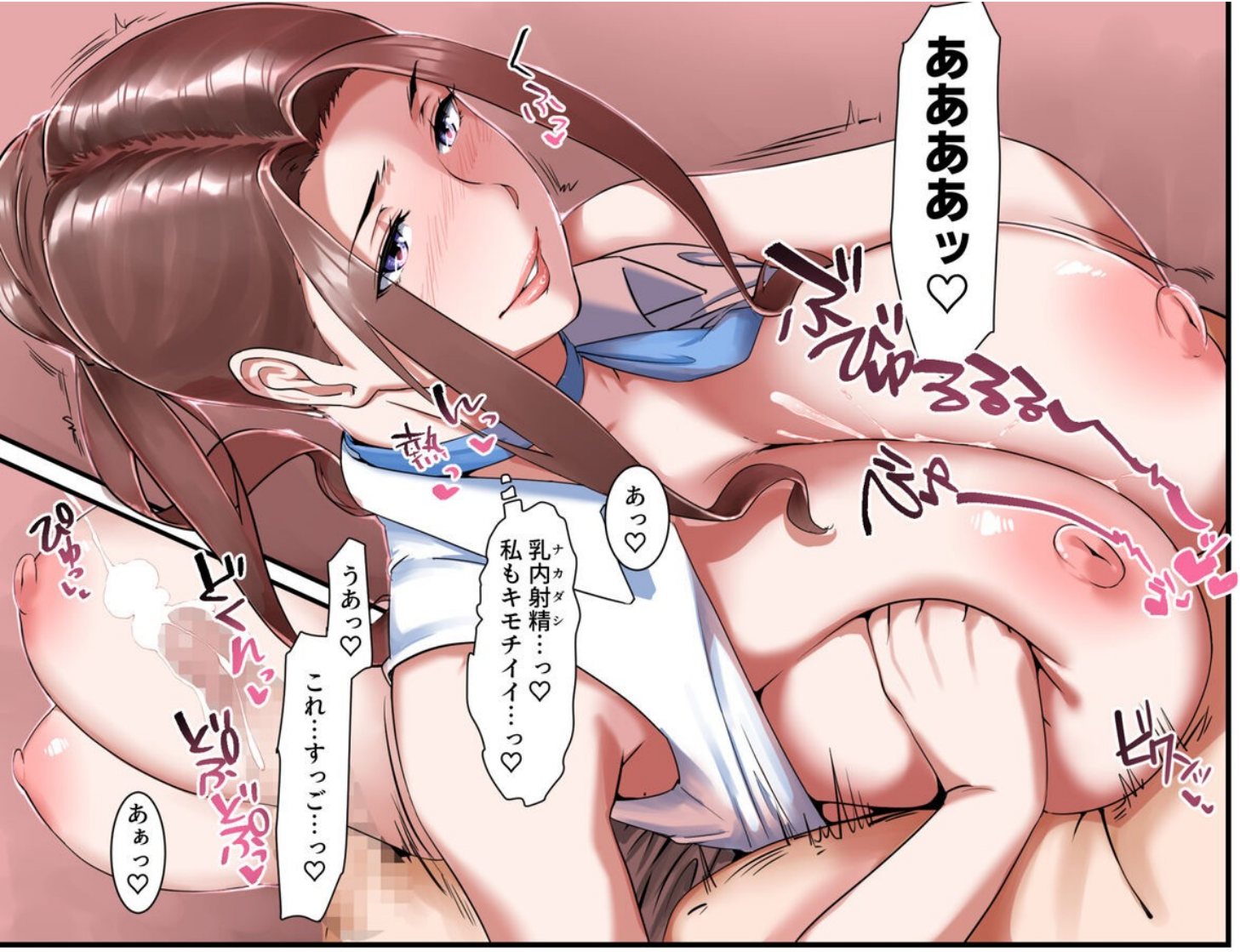
その夜――
あの…課長…ッ
上司の柊 有紗は
この部屋のドアでおしまい
ここからは〝アリサ〟
ですから…
あ…アリサさん…
ふふ♡いい子♡
さあ、こちらへ♡
ギッ
ビキビキッ
ぷにゅっ♡
あん♡
もうこんなに
期待してくださって…♡
それでは…♡
今日は
コッチ
お乳で
ご奉仕しますね♡
プチッ
あっ…アリサさんっ
はいはい♡
慌てないでくださいね♡
トンッ
たぷんっ たぷんっ


あっ♡
ぷにんっ♡
おっぱい…♡
やわらか…っ♡
ビクッ
ビクッ
にゅぷっ♡
先っぽのおつゆがすごいから…
要らないかもしれませんが♡
ぷちゅっ
あぁっ♡
にゅるにゅるの谷間っ♡
きもちい…っ♡
ぬぷっ

あんっ♡
おチンポが…
ビクンビクンして…
まだ射精っちゃダメですよ♡
むぎゅ
ビクッ
ビクッ
ぎゅっ
んっ
お乳の谷間で…
このデカチン…
とろっとろにしてあげますからね♡
にゅぷっ
ぬぷっ
たぷっ
たぷっ
うっ…くふっ♡
アリサさんのヌルトロのおっぱいっ
たぷたぷの爆乳パイズリっ♡
ほんとにチンポ蕩ける…っ♡
ぢゅぷんっ♡
ぢゅぽっ♡
ぅふっ♡
悦んでくれて嬉しいです♡
あっ♡
キモチイイ声も…
いっぱい出してくださいね♡
あぁっ♡

はぁぁあっ♡
もっ…イきそぅ…♡
あっ…♡む…むりっ…♡
ふふっ♡
もうちょっとガマンしましょうね♡
あはっ♡チンポがパンパンに張りつめて♡
ほらっ♡
ほらっ♡
あっ♡
あぁっ♡
あっ♡
アリサさ…っ
じゃあ…濃いの出しちゃいましょうか♡
あぁぁあああぁっ♡♡♡
あんっ♡
キタっ♡
アリサのお乳…気持ちよかったですか？
乳肉に包まれながらイクの…気持ち良すぎっ…♡
んおっ♡
あっ…アリサさん…


あ…あのっ
かちょ…アリサさん…
なんでこんな…シてくれるんですか？
あはぁ…♡
今、聞いちゃうんですか？
仕事もプライベートもこのカラダ目当てで寄ってくるのばっかりなのに…
そんなそぶり見せないで一生懸命付いてくる部下がいたら…
可愛がってあげたくなっちゃうでしょう？
だからテツさんにお願いしてちょっとご褒美を…ね♡
えぇ!?テツさん!?あの人いったい…
そんなことより…
今はパイズリに集中してください♡
ああっ♡乳圧っ♡すごっ♡
ほら♡チンポ気持ちよくなってください♡
濃ゆ～いチンポ汁♡
乳マンコにたっぷり乳内射精して♡


あああッ♡
あっ♡
乳内射精(ナカダシ)…っ♡
私もキモチイイ…っ♡
うあっ♡
これ…すっご…っ♡
あぁっ♡

すごっ…♡
あっ♡
かはっ♡
チンポ溶けるっ♡

あ…はぁ…♡
すっごく元気のいい射精♡
ステキです♡
おっぱいで
妊娠しちゃいそう…♡

ほんとにすっごいチンポ…♡
ちょっと遊んであげる
くらいのつもりだったのに…
私のほうがハマっちゃいそう…♡
あぁ…アリサさんっ♡
ふふっ♡
また、来てくださいね♡

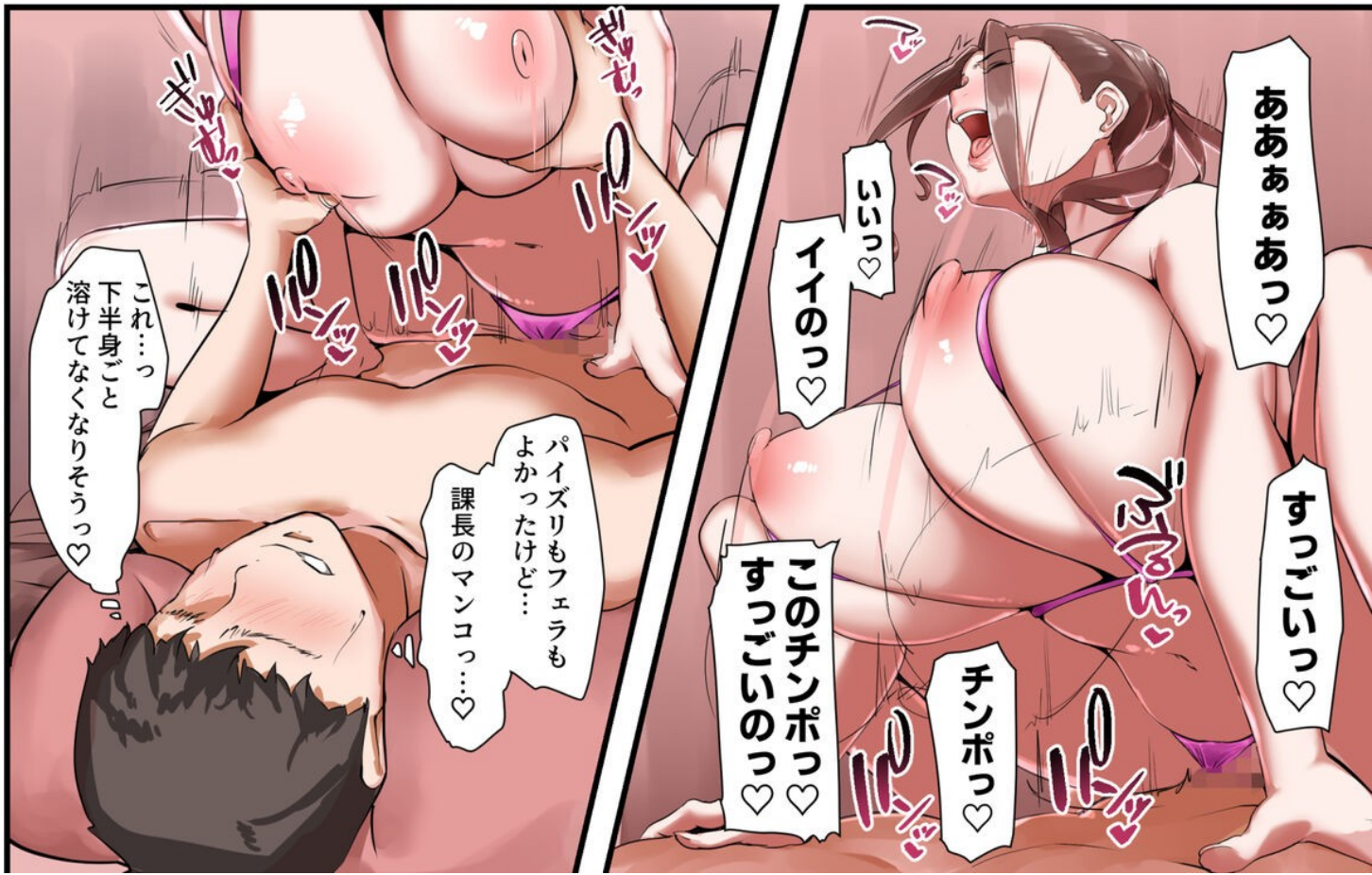
相変わらず仕事は厳しいけど
この部屋では甘やかしてくれる柊課長（アリサさん）
ぬぽっ
ぐぽっ
ぢゅぽっ
あっ…♡
あっ…♡
アリサさん…
チンポしゃぶり上手…っ♡
ぐっ
ぢゅぽっ
ぷるんっ
ぢゅぽっ
あっ♡
あっ♡
あっ♡
イクイクイクっ♡
ぢゅっ
ぢゅっ
ぢゅっ
あっ♡
そんな
おいしそうに…♡
ああ…あの柊課長が
俺のちんこにねっとり
激しくしゃぶりついて…♡
ぐぽっ
ぐぽっ
でるっ♡
あっ♡
飲んでっ♡
アリサさんっ♡
ザー汁飲んでっ♡
ビクッ
ビクッ
あっ…はぁ…♡
ビクッ
ごちそうさまでした♡

本番こそなかったものの
程よく熟れたカラダを
惜しみなく使った〝ご奉仕〟で
毎日のようにヌいてくれる
アリサさんだったんだけど
キュルキュル
にゅぷっ♥
ぬぷっ♥
あっ♥アリサさんっ♥
これっ♥
ぷにぷにしてきもちいっ…うっ♥
おマンコに入っちゃうから激しくするのダメですよ♥
こうやって…ゆるゆるするのもいいでしょう？
でも…っ
こうしたいっ♥
あぁぁんっ♥
ダ…ダメぇ♥
セックスする腰使いしちゃダメェっ♥
パンッ
パンッ
ぎゅーっ♥
あっ♥
プルルッ♥
ぎゅーっ♥
びゅ
ビクンッ
びゅるるっ♥
ビクン
あん♥
もう…
こういうのはダメなのに
本気で欲しくなっちゃうからダメだったのに…♥
この時にスイッチが入っちゃったらしく
次に行った時には…

ビキニ姿の柊課長にあっという間に跨られて…
んっ♡
はぁ♡
アリサさんっそんな擦りつけたら…っ
あん♡だって…こんな…
すっごく私好みのおチンポがこんなに悦んでくださって…♡
入り口で擦ってるだけで興奮してしまいます♡
でも…今日は…♡
ゆさっ
ゆさっ
にゅぷっ
ギッ
ギンッ
ぬちゅっ♡
ビキッ
ギュぷっ♡
あぁっ♡アリサさんっ♡
あん♡熱々のおチンポが直に♡
もう我慢できませんから♡おマンコ…ハメさせてください♡
ぷるっ
ぷるっ
え…えぇっ!?
いやっ…ちゃんと責任は…
ってそうじゃなくてっ
アリサさんっ！
ご安心ください♡
私はナマでもいいんですけどご面倒でしょうから…
ちゃんと…

いっぱい気持ちよくして差し上げますから♡
やっ…そういうことじゃ…
あっ♡
あっ♡
じゃあ…
あっ♡
挿入れちゃいます…
あっ♡
ねっ♡
あっ♡
あっ♡
す……ご……っ♡
想像…以上…っ♡♡♡
お迎えしただけでイっちゃ…っ♡
ふっ…ぐうっ♡
きっもちぃ…いっ♡
おっ…♡
ほっ♡

ごめん…なさ…いっ♡
腰っ…止められませんっ♡
チンポっ♡
めちゃくちゃにしますけど…っ
赦してくださいねっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡


あぁぁぁあっ♡
いいっ♡
イイのっ♡
すっごいっ♡
このチンポっ♡
すっごいのっ♡
チンポっ♡
これ…っ
下半身ごと
溶けてなくなりそうっ♡
パイズリもフェラも
よかったけど…
課長のマンコっ…♡

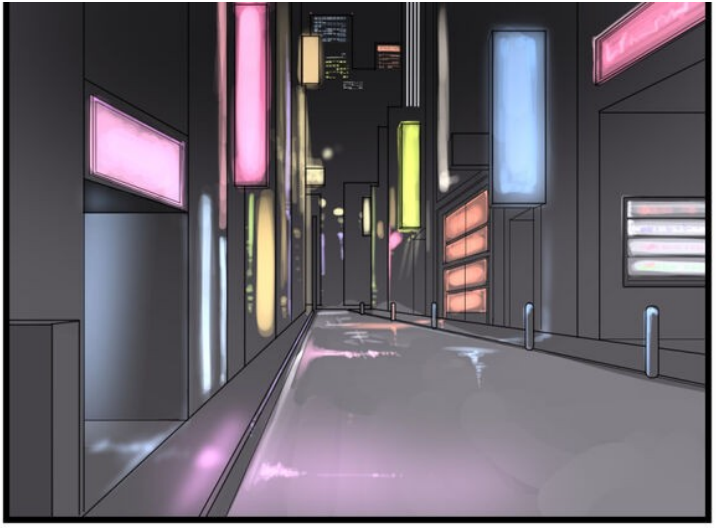
あ…っ
アリサさん…っ
俺…もうっ…♡
あっ♡
私もっ♡
あっ♡
一緒にっ♡
イってくださいっ♡
あっ♡
あっ♡
アリサさん…すごっ♡
きもち…い…っ♡
ああ…私も…♡
こんなに深イキしちゃったの…
初めて…です♡
はぁ…♡
ザー汁も
こんなにたっぷりで…♡
これは次回以降も…ですね♡

アフターではあんなに
蕩けた顔を見せてくれる柊課長の
仕事ぶりは変わらなくて
うん、今回は
これでOK
よくできてるわね
でも心なしか優しくなって
以前のような無茶ぶりはなくなったし
怒られることもなくなったどころか
労いの言葉もかけてもらえるように
なってきて――
キュ
最近の柊課長
いいよなー
なんか
丸くなったっつーか
わかる…
そうそう
あの凶悪ボディに釣られて
撃沈した奴が
山ほどいたのに
まさか…
いや、ないでしょw
たゆん
たゆん
上と戦ってくれるから
そういう部分では
頼もしいんだけどなあ
まあでもいろんな意味で
あの人を満足させらるか
って言ったらきついよな
確かになー
ワハハ

何の取り柄もない自分だから
せめて言われたことぐらいはと思ってやってただけで
こんなに満たされるセックス…はじめてです…♡
そりゃ全く期待してなかったかって言うとウソになるけど
そんなこと考える暇もなくて
ついていくので必死だっただけなんだけど…
みんなが言うほど怖い人じゃないんだと分かってきて
でも欲求不満を溜め込んだカラダは凶悪なんてもんじゃないことも分かってきて——

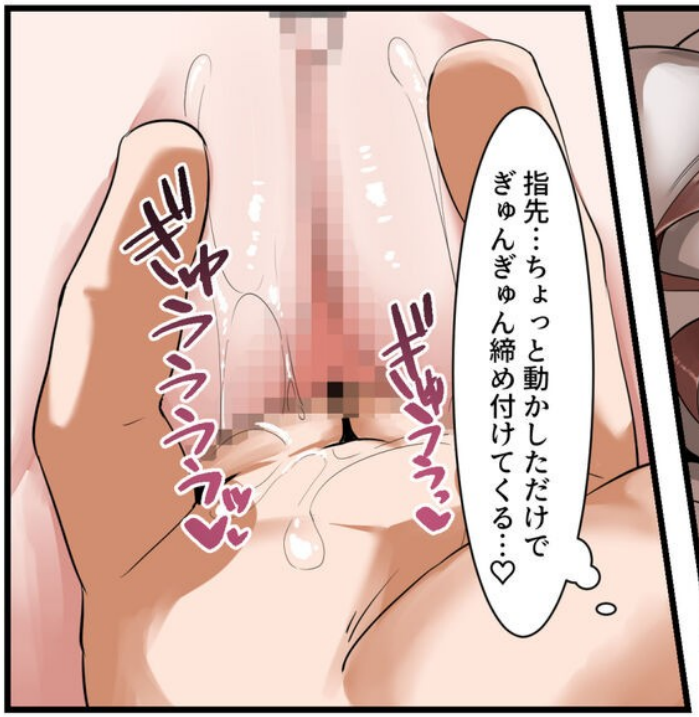
あっ♡
うっ♡
はぁっ♡
精液たっくさん出したのに…
まだドクドクって
漏れてきちゃいますね♡
チュ♡
チュ♡
コレ…
ドクッ
ドクッ
まだまだ
射精できますよね？
あはっ♡
頼もしい
お返事♡
れろっ♡
あ…
し…したいです…
アリサさんのカラダで
もっと出しまくりたいっ♡
ハァ…
ハァ…
でも…今日はこのお部屋の時間が
来ちゃいましたから…
え…
はぁ♡
はぁ♡
ホテルで続き、しましょうか…♡
は…はいっ
キュッ♡
じゃあ…
キレイにしてから…♡
んっ♡
んっ♡
ぐぷぷぷ

ちょっと…♡
破いちゃダメ…♡
んっ♡
あんっ♡

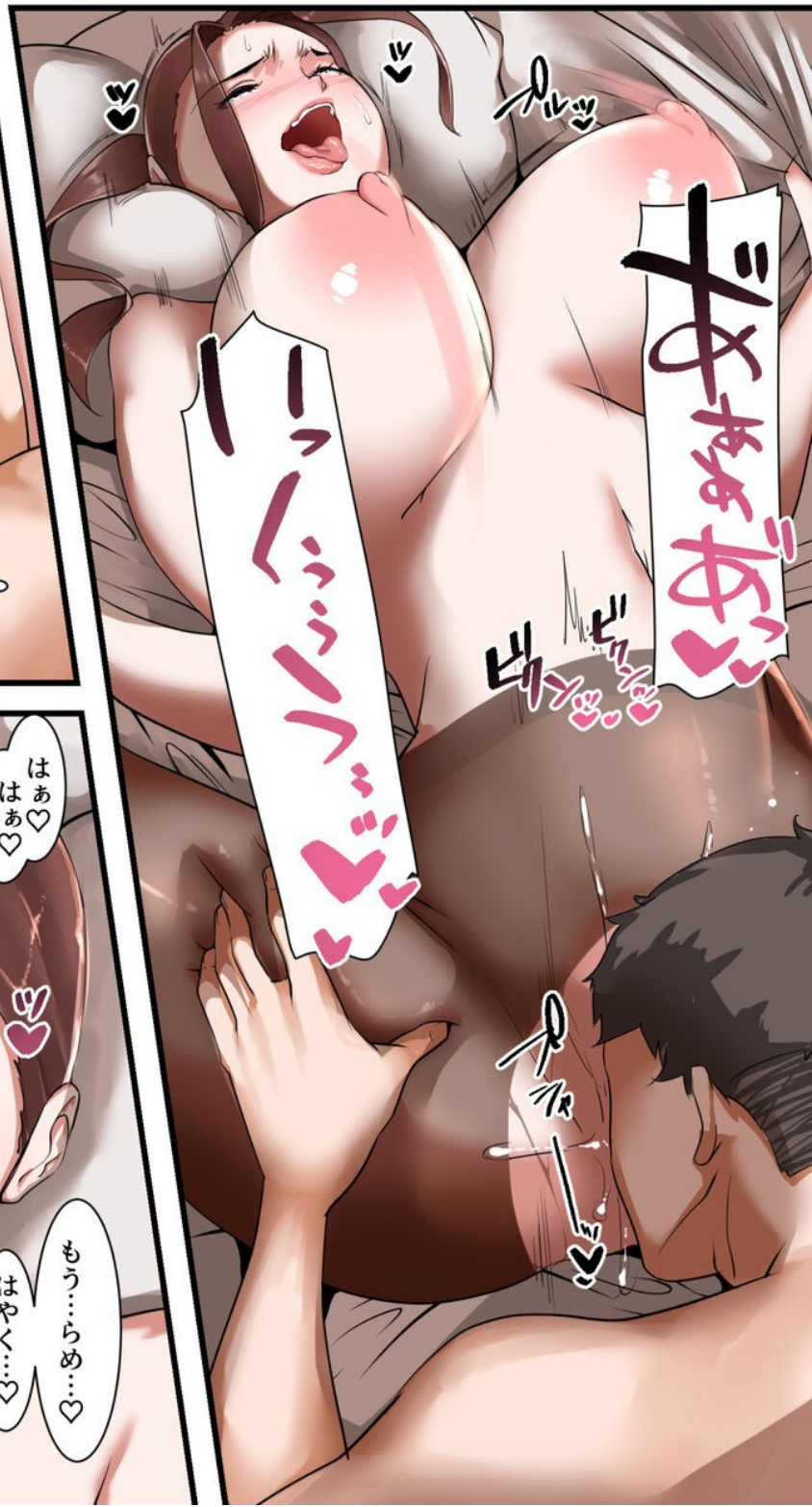


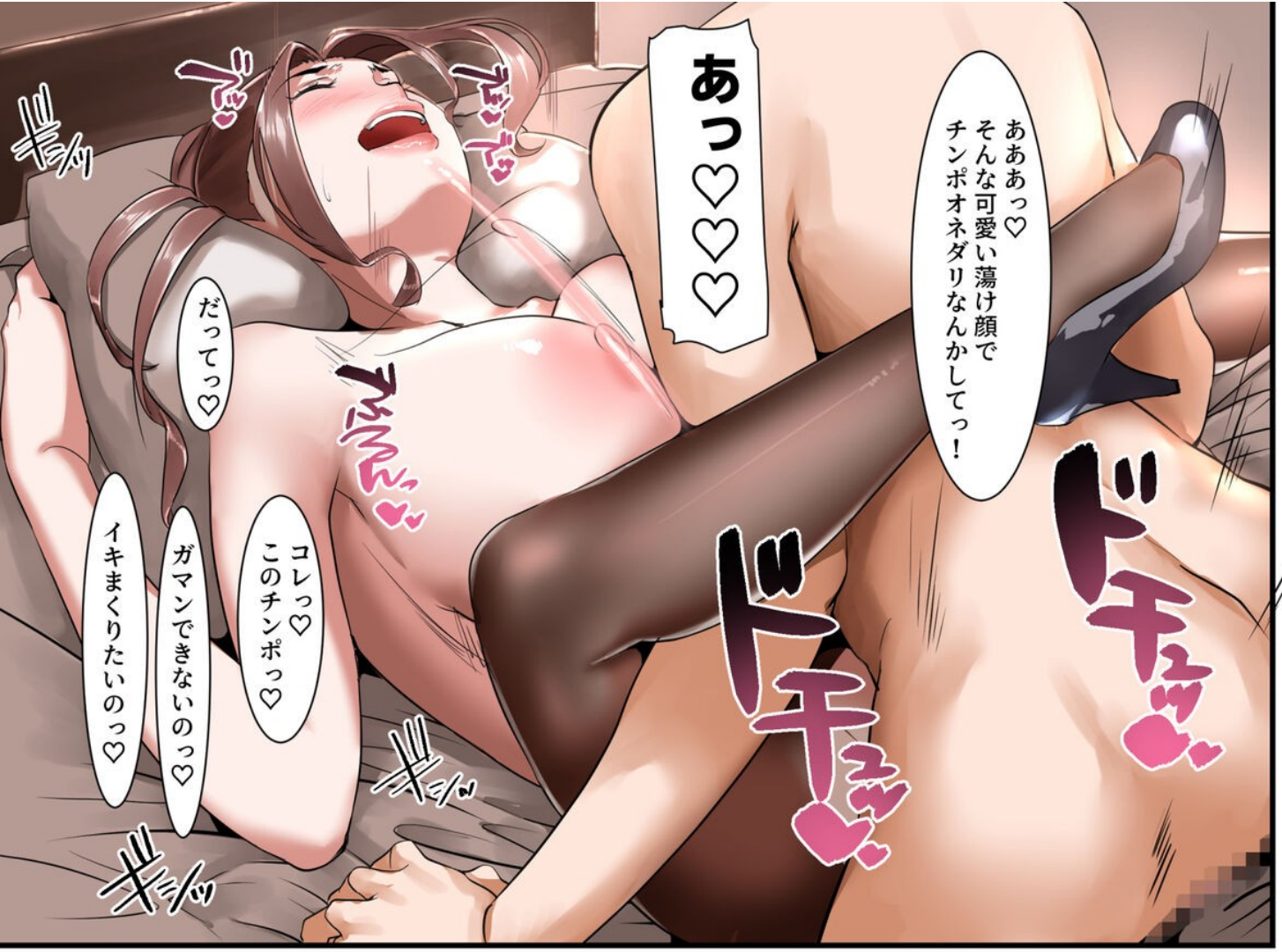
あん♡
シャワーも浴びてないのに♡
はふっ♡
ガマン…できなくて…っ♡
でも
アリサさんも
音立てちゃうぐらい
涎垂らしちゃってるじゃないですか
はぁっ♡
言わないでぇ♡
指がめっちゃ気持ちいい…♡
ココ、舐めていいですか？
あ…♡
おマンコ♡
舐めてください♡
あぁっ♡
そこっ♡
それっ♡

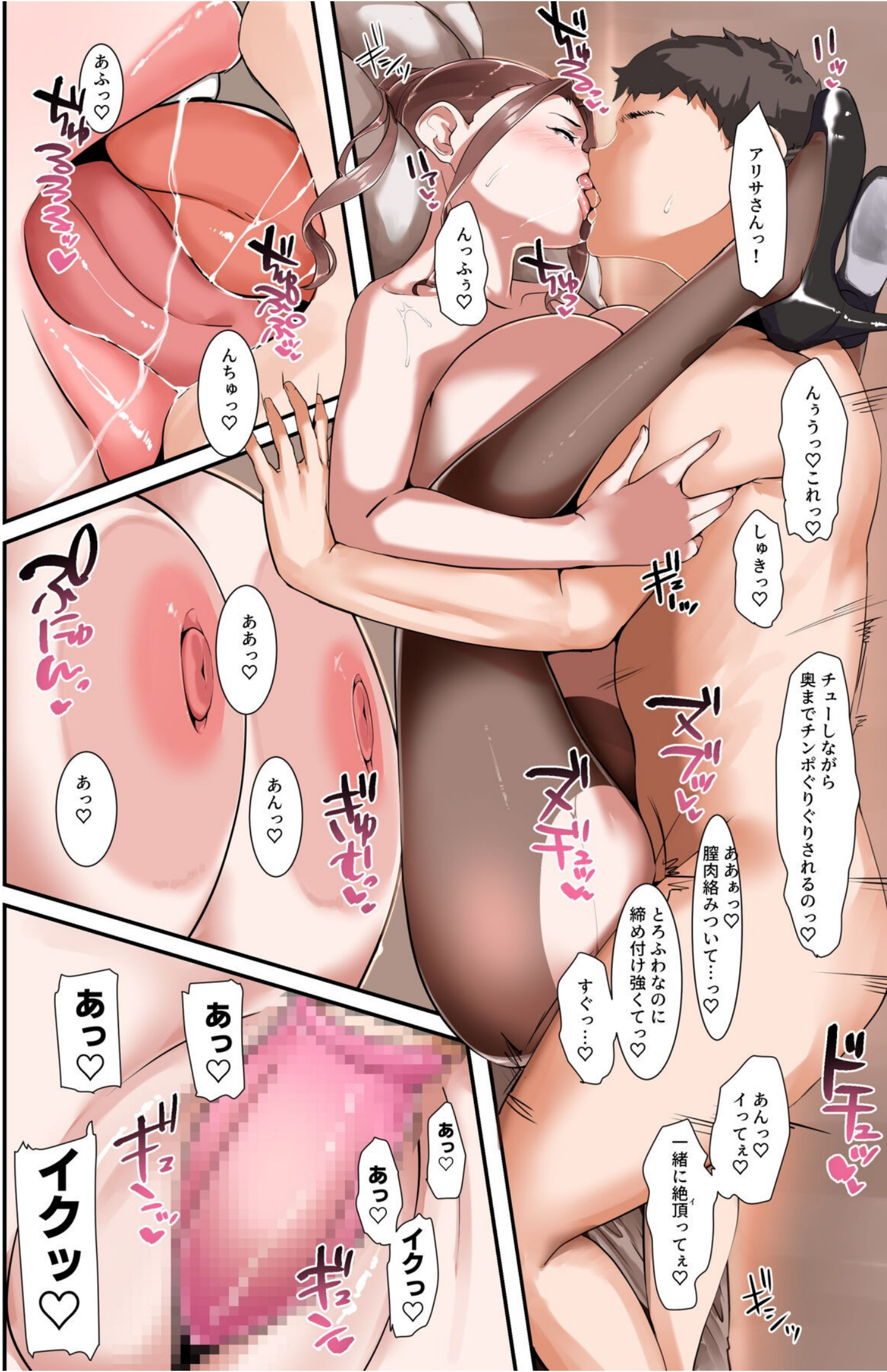
あっ♡
あっ♡
んっ…♡
エロい味っ♡
アリサさんのココ
すっごいいやらしい
ニオイしてますよ♡
ぐちゅぐちゅ
ぐぢゅ
ぐぢゅ
あっ♡
らめっ♡
言っちゃらめれすっ♡
イクッ♡
イクッ♡
イクッ♡


指先…ちょっと動かしただけで
ぎゅんぎゅん締め付けてくる…♡
ぎゅうぅぅぅ
ぎゅうぅぅぅ

はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はやく
チンポ…ぶちこんで…♡
もう…らめ…♡
はやく…♡


おぉぉぉぉぉ
ぐぅぅぅぅぅ
ビクンビクン

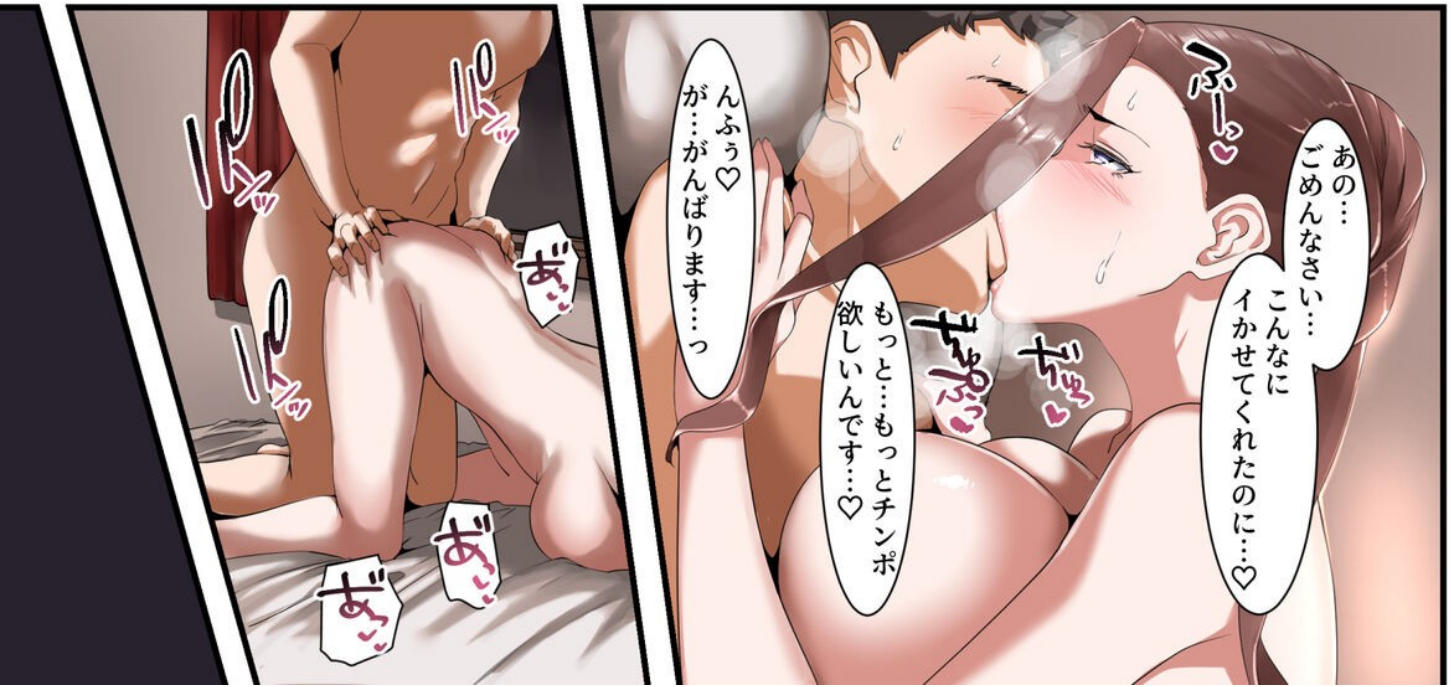

あっ♡♡♡
あああっ♡
そんな可愛い蕩け顔で
チンポオネダリなんかしてっ！
だってっ♡
コレっ♡
このチンポっ♡
ガマンできないのっ♡
イキまくりたいのっ♡
ドチュッ
ドチュッ
ブッブッ
ビキッ
ビキッ
うあ…ぁっ
本気マンコ…
めっちゃ吸い付いて…っ♡
わかってますかっ
アリサさんのマンコっ
満足させられるのっ
このチンポだけですからねっ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ああああッ♡
これっ♡
このチンポだけぇっ♡
このチンポだけですからっ♡
いっぱいイかせてぇッ♡
おっ
おおっ♡

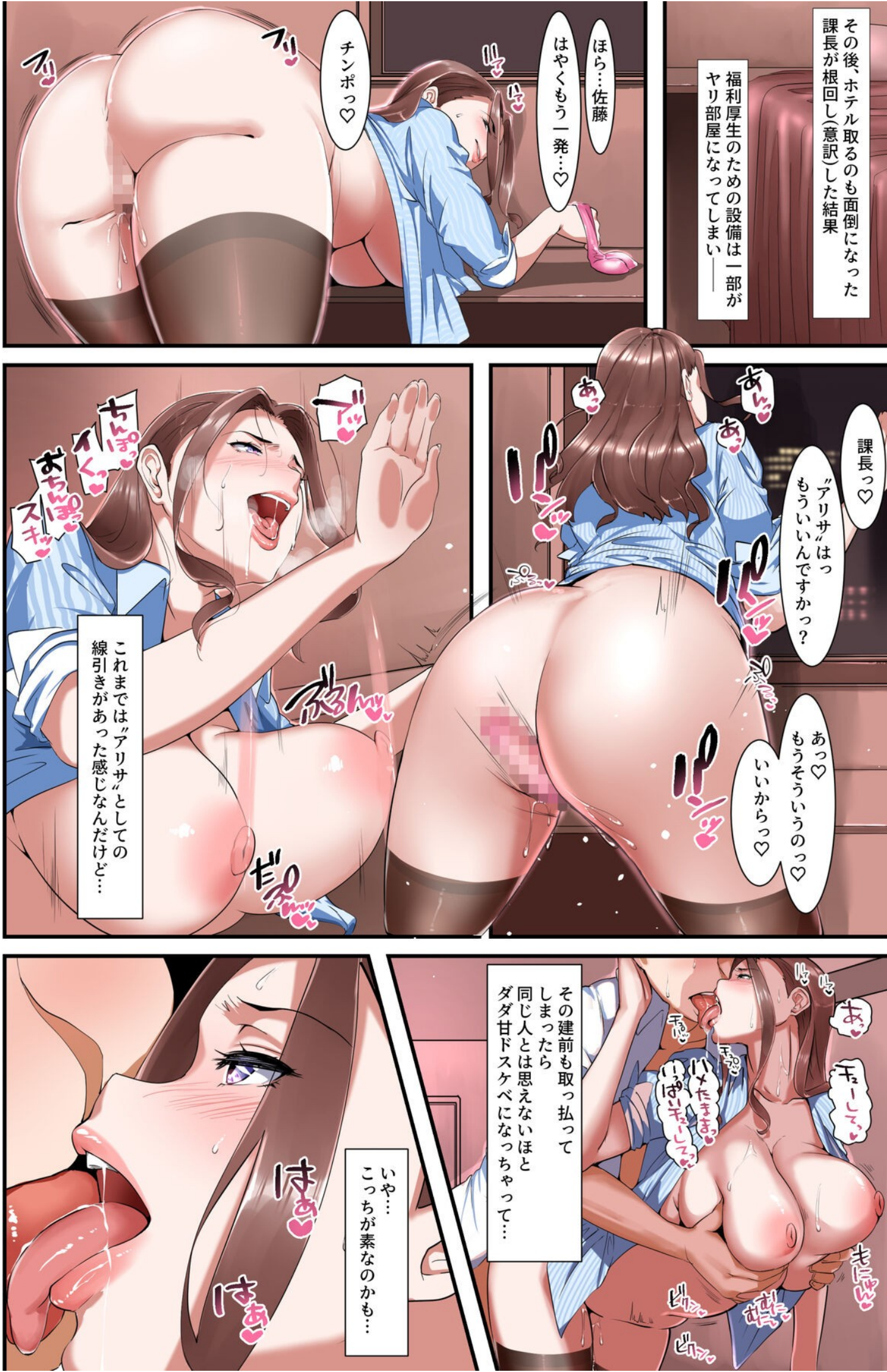

アリサさんっ！
んぅうっ♡これっ♡
しゅきっ♡
チューしながら
奥までチンポぐりぐりされるのっ♡
ああぁっ♡
膣肉絡みついて…っ♡
とろふわなのに
締め付け強くてっ♡
すぐっ…♡
あんっ♡
イってぇ♡
一緒に絶頂ってぇ♡
んっふぅ♡
んちゅっ♡
あふっ♡
あぁっ♡
あんっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡
イクっ♡
イクッ♡

あっ…アリサさん…っ♡
あん♡ぜんぶ出してぇ♡
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ

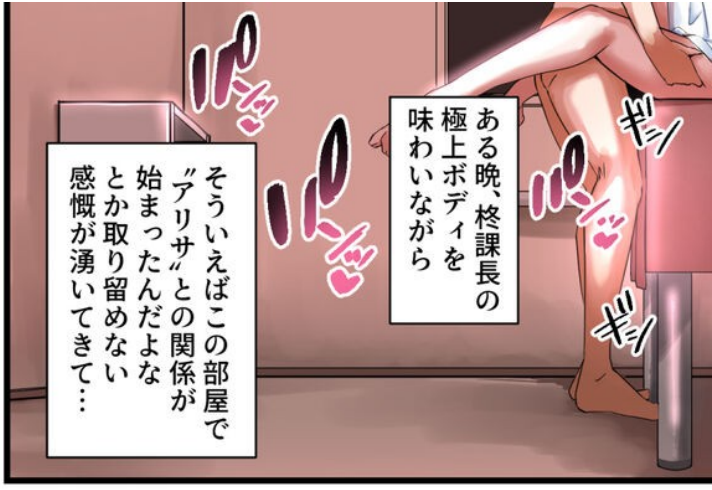
あっ♡
ビッ
ビッ
ギッ
ギッ
おちんぽっ
ぎもちぃっ
ちんぽっ
ちんぽっ
ぁおっ♡
奥っ♡
刺さるっ♡
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ぐりぐりっ
ぐりぐりっ
アッ♡
アッ♡
ぐにゅんっ
ぶるんっ
またっ♡
またイきますからっ♡
相性ピッタリの
カチカチチンポでっ♡
イっちゃいますからっ♡
バチュッ
バチュッ
ぼぢゅっ
ぼぢゅっ
ぁっ♡
またイグっ♡

あ…おほ…っ♡
んおっ♡
あっ♡
はぁっ♡


あの…ごめんなさい…こんなにイかせてくれたのに…♡
もっと…もっとチンポ欲しいんです…♡
んふぅ♡が…がんばります…っ
あっ
あっ
あっ


その後、ホテル取るのも面倒になった課長が根回し(意訳)した結果
福利厚生のための設備は一部がヤリ部屋になってしまい――
ほら…佐藤
はやくもう一発…♡
チンポっ♡
課長っ♡
〝アリサ〟はっもういいんですかっ？
あっ♡もうそういうのっ♡いいからっ♡
ちんぽっ♡
イクっ♡
おちんぽっ♡
スキッ♡
これまでは〝アリサ〟としての線引きがあった感じなんだけど…
その建前も取っ払ってしまったら同じ人とは思えないほどダダ甘ドスケベになっちゃって…
いや…こっちが素なのかも…

その割に普段の仕事の冴えは
今まで以上になるもんだから
このスケベ具合とのギャップで
チンポも益々硬くなっちゃって…
ぐぽっ
ぶぽっ
ぐぽっ
ぶぽっ
ぐぽっ
ぶぽっ


ある晩、柊課長の極上ボディを味わいながら
そういえばこの部屋で〝アリサ〟との関係が始まったんだよなとか取り留めない感慨が湧いてきて…
パンッ
パンッ
パンッ
ギシ
ギシ

んっ♡課長っ♡
あんっ♡
おっぱい…強くして♡
ぎゅーっ
ビクッ
ビクッ
これっ♡すきっ♡ナカでチンポがビクビクって…感じるっ♡
どびゅるるっ
びゅくんっ
びゅっ

はっ
はっ
はっ…あっ…♡

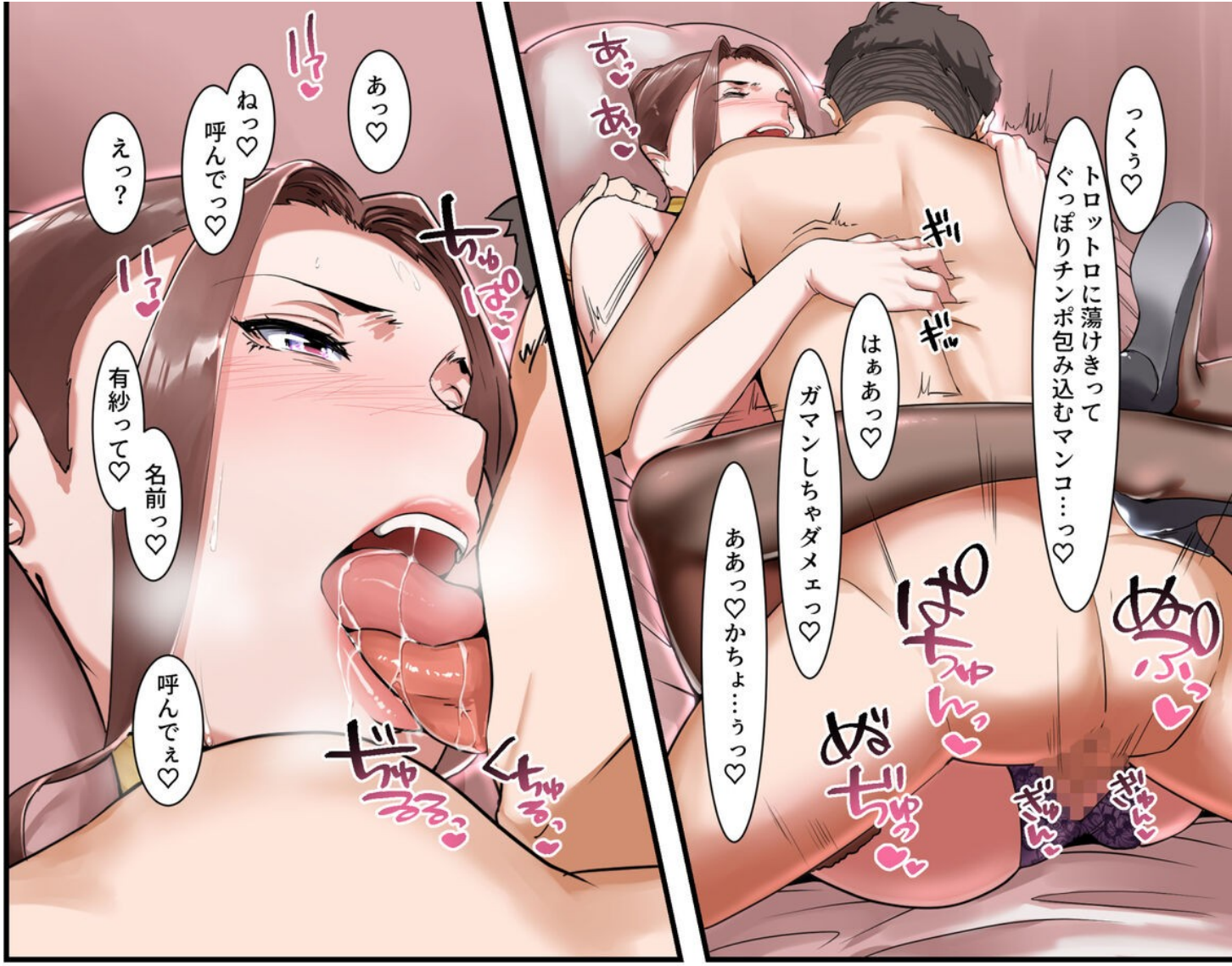
あの…柊課長…
ん？
もう…アリサの格好はしてくれないんですか？

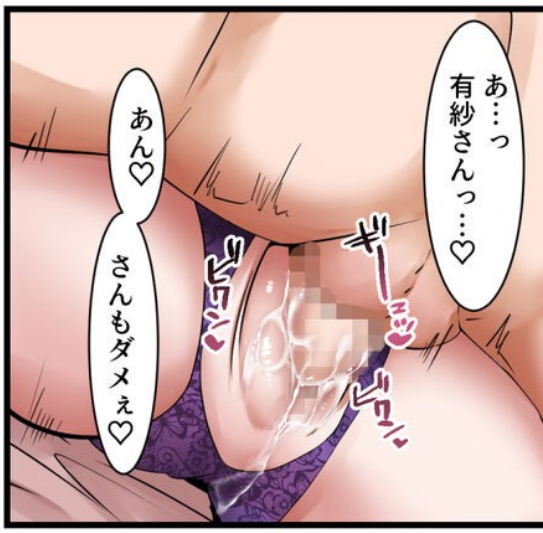
ふふっ♡
いいわよ♡
でも…私のオネガイも聞いてもらおうかな♡
オネガイ？
あ…その…
ああいう…露骨に淫らな感じの恰好が好みなの？♡

着てる意味ある？
ってぐらいの紐が
シュルルッ
ぷるん
柊課長の
とんでもなくエロい熟れ肉を
際立たせて
きゅっ
ぷりっ
いつもと少し
様子の違う中で出た
〝オネガイ〟になぜか
ひどく興奮してしまって
たぷんっ
あの…それで
オネガイって…
うん♡
今日、すっごい危ない日だから…
生チンでずぽずぽして
チンポ汁、溢れるぐらい膣内射精（ナカダシ）してほしいの♡
え…でも…
ね…セキニンなんていいから…♡
ヒクッ
ヒクッ
トロー
子宮に佐藤クンの精子…
欲しくて欲しくて
もう…
ガマンできないの…♡

初めは畏怖の対象だった
上司にこんな誘惑されたら
生チンポ♡
ハメて♡
後先なんて―
フーッ♡
フーッ♡
ギンッ
くぱぁ♡
ヒクッ
ヒクッ
ぬぷっ♡
いっ…入れますからねっ
あっ♡
奥まで…
来てっ♡
くちゅっ♡
ぬっぢゅっ♡
お…ほ…っ♡
あぁっ…
めちゃくちゃ締まる…っ♡
ぷるっ
ビクッ
は…おっ♡
んおっ♡♡♡♡

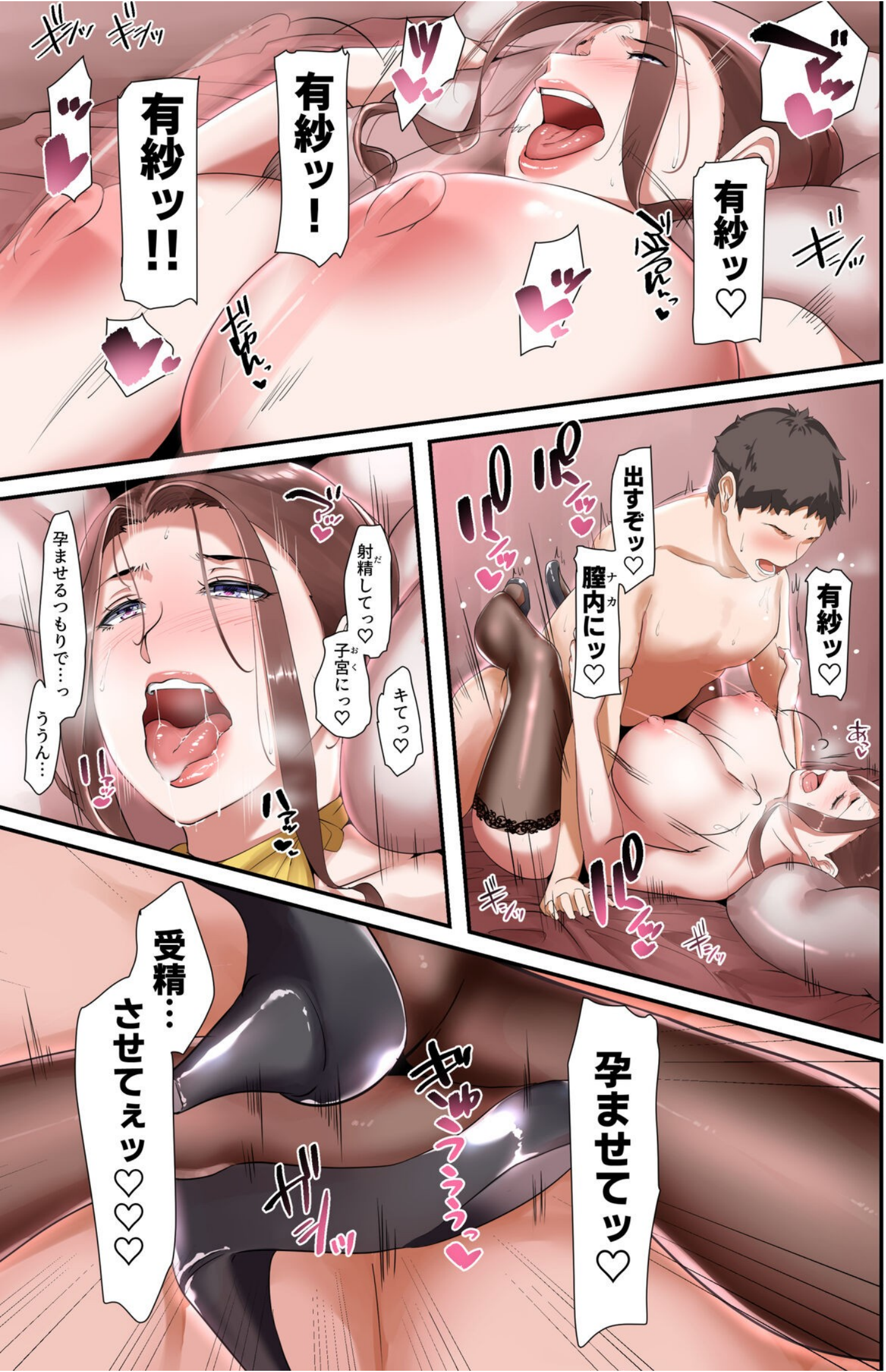
あっ♡
かちょ…っ♡
あっはぁっ♡
生チンポっ♡
きもちい…っ♡
ビクッ
ぐりゅ
ぐりゅん
そんな…っ
チンポこねる腰使いしたら…っ
すぐ射精ちゃいます…っ♡
あ…
んあっ♡
何言ってるの♡
何発コいても濃いままの
どろっどろのチンポ汁で♡
早く中出し絶頂させて♡
…っ！
はぁ…
はぁ…
パンッ
パンッ
パンッ
課長ッ！
ぶるっ
ぶるんっ
あぁあッ♡
そうっ♡
これっ♡
奥まで
ガンガン突いてっ♡
思いきり膣内に射精してッ♡
うっ…あぁぁっ♡
もっ…漏れちゃうっ♡
ぴゅるっ
ほらぁ♡早くぶちまけてっ♡


つくぅ♡
トロットロに蕩けきって
ぐっぽりチンポ包み込むマンコ…っ♡
はぁあっ♡
ガマンしちゃダメェっ♡
ああっ♡かちょ…ぅっ♡
あっ♡
ねっ♡呼んでっ♡
えっ？
有紗って♡
名前っ♡
呼んでぇ♡


あ…っ
有紗さんっ…♡
あん♡
さんもダメぇ♡

有紗って♡
呼び捨てにしてぇ♡

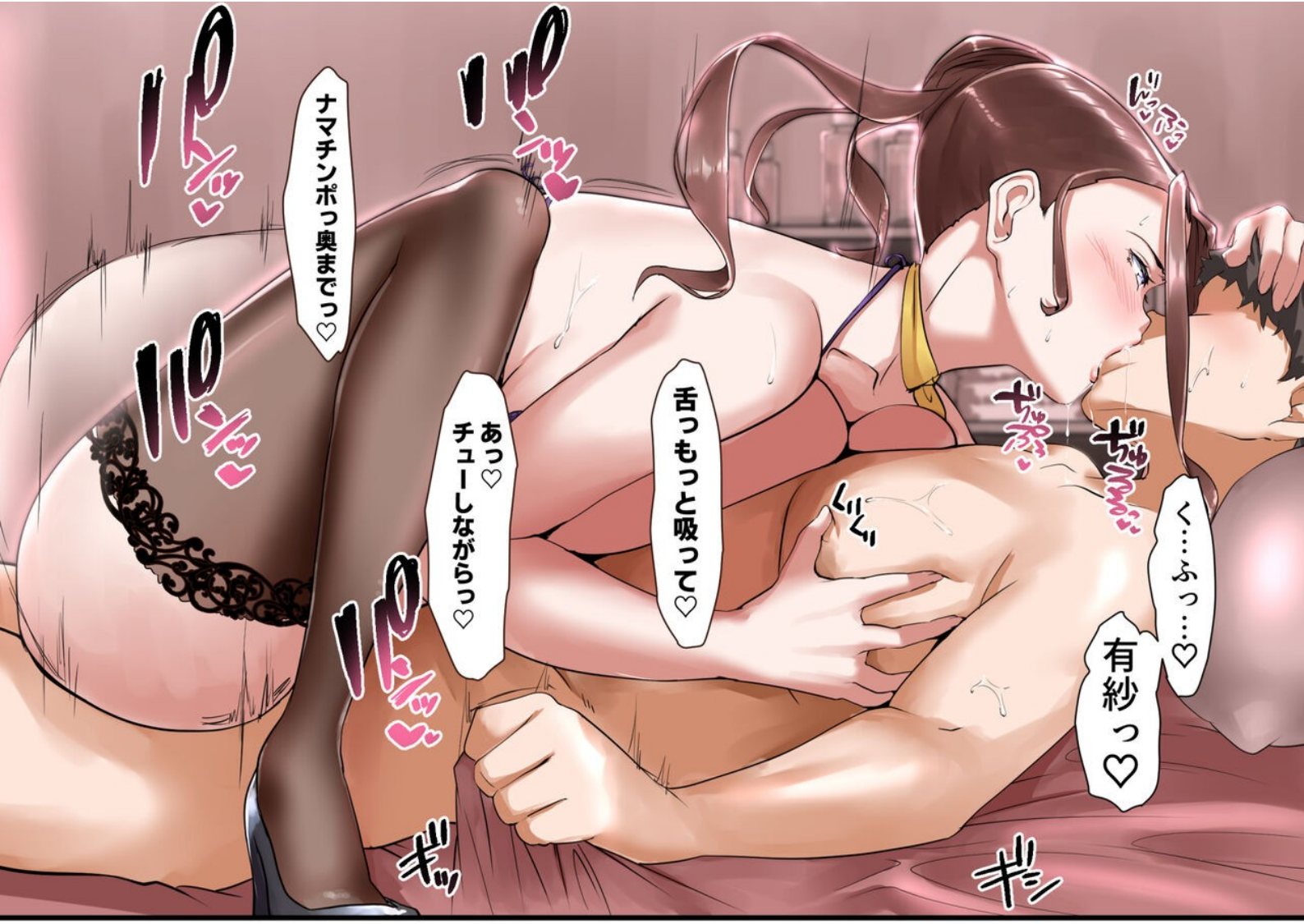
つくぁあぁっ♡
あ…有紗…ッ
あっ♡♡♡そうっ♡
有紗っ♡
あっ♡あっ♡

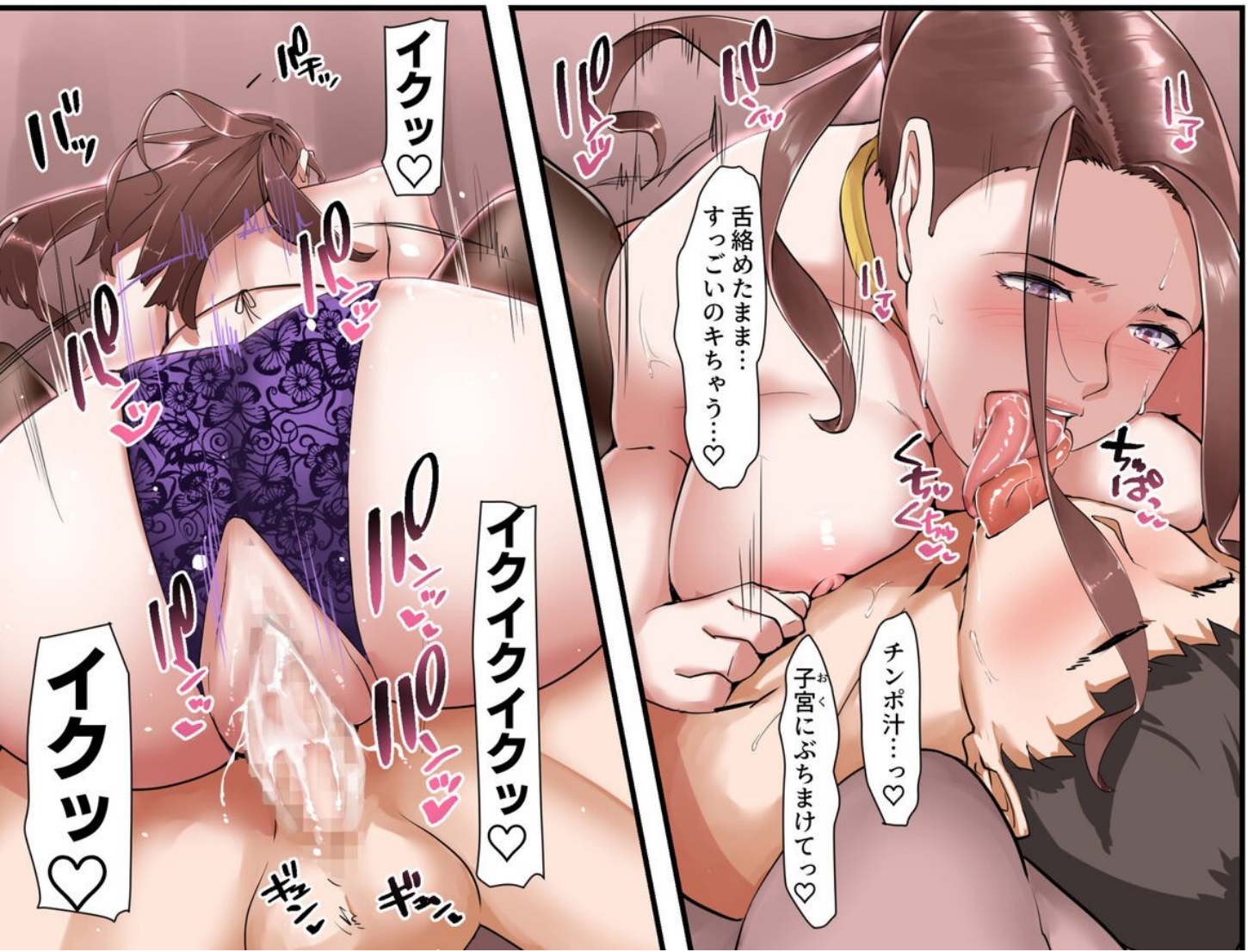

有紗ッ♡
有紗ッ！
有紗ッ!!
有紗ッ♡
出すぞッ♡
膣内(ナカ)にッ♡
射精(だ)してっ♡
子宮(おく)にっ♡
キてっ♡
孕ませるつもりで…っ
ううん…
孕ませてッ♡
受精…
させてぇッ♡♡♡

ブッ♡
ビュルルルルーッ
ビュビュビュビュビュビュ
ビュルルルル

あっ♡
は…♡
ハーッ
ハーッ
ハーッ♡
ゴムなしチンポ…♡
生ザーメン…♡
ビキッ
ドロ
あぁ…っ♡
有紗っ♡
あぁ…♡
こっち、おいで♡
ビクッ
ビクッ
しゅごっ…♡
イクの…♡
止まらな…っ♡
ゴポッ
ドプッ
ぢゅるるっ♡
ぢゅぷっ♡
んっ…ふぅっ♡
イキたてチンポ♡
ぜんぶ混じった
交尾汁の味…♡
おいし…♡
キにゅん
あっ♡
お掃除でそんな
吸ったら…っ♡
んふっ♡
今度は私が上…ね♡

あっはぁあぁっ♡
騎乗位(コレ)っ♡
いつもより深いとこまで
刺さっちゃうっ♡
精子もっと欲しくって
子宮降りてきちゃってるっ♡
あああッ♡
チンポっ♡
チンポ
キモチイイッ♡
ハァッ♡
ハァッ♡
おほっ♡
んおっ♡
お…
あぁ…ッ♡
あっ…有紗っ♡
あっ♡
このまま…っ♡


く…ふっ…♡
有紗っ♡
舌っもっと吸って♡
あっ♡
チューしながらっ♡
ナマチンポっ奥までっ♡


舌絡めたまま…
すっごいのキちゃう…♡
チンポ汁…っ♡
子宮(おく)にぶちまけてっ♡
イクッ♡
イクイクイクッ♡
イクッ♡

ビクンッ
ぼぼぼっ
ビクンッ
びゅるるるるるるっ
あ…有紗っ♡
びゅびゅ
有紗っ♡
びゅくんっ
どくんっ
どくんっ
有紗っ♡
びゅるるっ
ぎゅんっ
ぎゅんっ
おッ…♡
ぶっ
ぬろぉっ♡
おほっ♡
オッ♡
オッ♡
ん…ぶっ♡
ちんぽっ♡
キュン
キュン
精子っ♡
ごぽっ♡
朝まで注いで…♡

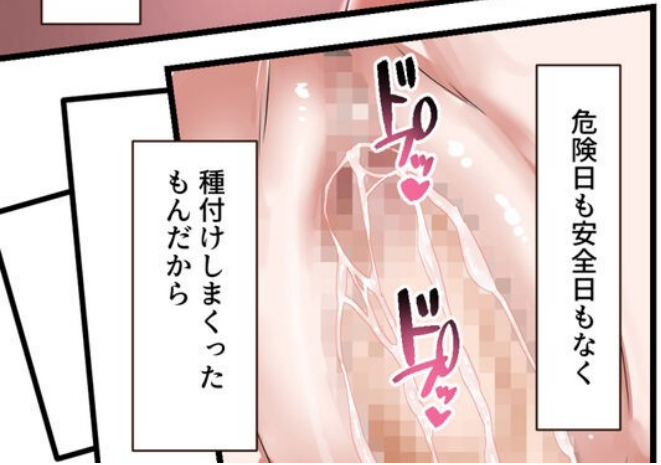
有紗ッ♡
有紗ッ♡
有紗ッ♡
有紗ッ♡
はぁッ♡
おっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡
はっ…♡すごっ♡
またたっぷり出てるっ♡
チンポ汁びゅーびゅー注ぎ込まれて…子宮悦んじゃうっ♡
やっぱり…ベロチューされるのっ…すきっ♡
愛され交尾っ♡すきっ♡
あんっ♡
ぜんぶっ…♡
おクチも顔もお乳もぜんぶっ♡
チンポ汁のニオイで染めてっ♡
せーし臭いオンナにしてっ♡

あっ♡
はぁ…っ♡
はぁっ♡
ギッ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
んっ♡
有紗っ♡
さすがにもう…
空っぽ…♡
あ…ふぁ…っ♡
お…お…♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
キンタマの中身ぜんぶ注いでくれて…
こんなに満たされるセックス…♡
うれ…しい…っ♡
びくびくっ♡
ぴくん
ぴくん
んっ♡
あったかい…♡

責任は取るつもりでいたけど
それはそれとして…
あれからも柊課長の
快感濡れの顔が見たいばかりに
カタカ…
カタカタカタ…
カン…
仕事して

仕事して
お世話なってます！

中出し交尾して


危険日も安全日もなく
種付けしまくった
もんだから

中出し交尾して

お帰りなさい♡
今日も…する？
カチャ
もう…パパのミルクじゃないのよ♡
ぴゅるるっ
ぴゅっ
ぴゅっ
だって…前よりもっともちもちになった爆乳に…っ♡
母乳まみれの有紗のおっぱい♡
ふふっ♡乳マンコ交尾ばっかり♡
ムニュ
ムニュ
ムニュ
ムニュ
ん♡
私も…チンポでイキたいんだけどなぁ♡
んっ♡
びゅるるるるっ
びゅ〜〜〜
え？いいの？
ビクン♡
ビクン♡

おぉん
あぁんっ
あっ
ぶるんっ
ぶるんっ
ズブッ
ズブッ
ズチュッ
イクッ
キモチイイっ♡
ちゅぷっ
ちゅぷっ
あっ♡
イっちゃうっ♡
あぁっ…♡
やっぱりコレじゃないと…
ビクッ
ビクッ
ダメ…っ♡
ビクッ
ギシ
ね…もういっかい…♡
二人目も…すぐかな…♡
おしまい